

イザヤ書からの見解 (II)

Lars Justinen

目次

天における危機	5
荒野における声	10
メシヤに出会う	15
創造主の慰めと保護	20
小羊を眺める	25
自分の隣人たちと分かち合う	31
残りの民の苦闘	36
天と協力する	41
証人となるために召された	46
魂に接触する	52
たゆまない伝道者	57
最終的な勝利	62
地上の最後の日々	67
永遠の兆候	72

セブンスデーアドベンチスト
ト改革運動世界総会安息
日学校部 (P.O.Box 7240
Roanoke, Virginia 24019-
0240, U.S.A)

安息日聖書教科 Vol.92, No.3

編集&発行:
S DA改革運動日本ミッション

〒 368 - 0071
埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保
1607 - 1

TEL : (0494) 22-0465

FAX : (0494) 40-1045

URL :
<http://www.4angels.jp>

E-mail:
support@4angels.jp

イラスト : Illustrations:
Advent Digital Media on
the front cover and Map
Resources on pp. 4, 51, 72;
Design Pics on pp. 31, 72.

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔 〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

まえがき

次の四半期に安息日聖書教科では、イザヤ書からの見解についての研究を第二部をもって締めくくります。わたしたちが前期に見ましたように、預言者イザヤには、今日、実にわたしたちが理解する必要のある光景が明らかにされました。この多くは直接この地球歴史の終わりの時代に関するもので、あるものはわたしたちの世界が創造される前から再創造される後にまで及んでいます。このように広く甚大な見解をこの主要な預言者の書物を研究することによって得ることができるのです！

たとえば、「イザヤ書 41 章から 45 章に、神はご自分の民のためのご自分のご計画を十分に表してくださっている。であるから、これらの章を祈りをもって研究すべきである。神はここでご自分の民にご自分の知恵に背を向けて有限な人間に知恵を求めることを教えておられるのではない」（牧師への証 480）。

「わたしはイザヤ 46 章にわたしたちの民の思いを向けさせるよう命じられてきた。この章は善悪の戦いにおいて主の側で戦っている人々のための重要な教訓が含まれている」（レビュー・アンド・ヘラルド 1904 年 6 月 23 日）。

「〔イザヤ 59:13-17 引用〕。キリストの初臨前の世界の状態は、このお方の再臨直前の状態を描いている。同じ悪が存在し、サタンは同じ欺瞞的な力を人々の思いの上に発揮している。彼は自分の訓練した代理人たちを働かにつかせ、彼らを激しい活動へとつき動かしている。彼はいのちの君に対する最後の争闘に携わらせ、神の御座の基礎である神の律法を覆すために、人間の代理人を自分の軍隊に獲得しつつある。サタンは奇跡的な表れをもって、自分が主張通りの者—この世の君—であること、また勝利は彼のものであることを人々に信じこませるために働くであろう。彼は自分の勢力を神に忠実な者たちに対して向けさせる。しかし、彼は痛み、悲嘆、人間の苦悩を生じさせることはできても、魂を汚すことはできない。彼はキリストにしたように神の民に苦悩をもたらすかもしれないが、キリストの最も小さい者の一人でも滅びさせることはできない。この終わりの時代の神の民は、闘いの真ただ中に入ることを予期していなければならない」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 4 巻 1153）。

イザヤが自分の預言者の職務を勇敢に行ったのは、自分の命を懸けてのことでした。彼は次の忠実な改革者の中にいます。「のこぎりで引かれ、……これらの人々はみな、信仰によってあかしされたが、約束のものは受けなかった。神はわたしたちのために、さらに良いものをあらかじめ備えて下さっているので、わたしたちをほかにしては彼らが全うされることはない」（ヘブル 11:37-40）。

「兄弟たちよ。苦しみを耐え忍ぶことについては、主の御名によって語った預言者たちを模範にするがよい」（ヤコブ 5:10）。この終わりの時に、わたしたちの救いのためにこれらの預言を保存するには、どれほど大きな苦しみを要したかを考えつつ、それらの価値を真に感謝し、深く心にとめようではありませんか！

世界総会安息日学校支部

第一安息日献金

カナダ・バンクーバーのために

カナダは北アメリカの北部にある国で、3500 万の人口が 10 省と 3 つの領域に散在しています。カナダの国境は大西洋から太平洋に及び、北部は北極海へ伸びて、998 万平方キロメートル (3.85 万平方マイル) の面積を持っており、総面積においては世界第二位、陸地面積においては世界第四位の国となっています。



ブリティッシュ・コロンビアは西海岸に位置する省です。最大の都市はバンクーバーであり、カナダにおける第三位の大都市です。

ブリティッシュ・コロンビアの他の地域同様、バンクーバーも大陸の残りの地域と比べ、教会出席率は低いです。人口の大半は宗教を持っていません。国の宗教統計データでは、48.8%が宗教に属さない不可知論者（人間は神の存在を証明することも反証することもできないと唱える人）、無神論者、あるいは人間主義者です。36.2%がペンテコステ、プロテスタント、ローマ・カトリックに分類されるキリスト教徒、5.7%が仏教徒、2.8%がシーク教徒、2.2%がイスラム教徒、1.8%がユダヤ教徒、そして 1.4%がヒンズー教徒です。

この国が提供している宗教的な自由により、わたしたちのメッセージを促進させるのは大変容易です。わたしたちはこの教会組織が政府によって認められ、公式に登録されていることを神に感謝します。わたしたちはこの場所に現代の真理の光が灯り続けることを望んでいます。

ここバンクーバーにおける 2012 年の伝道プログラムを受けて、多くの魂の関心が呼び覚まされ、多くの訪問客がわたしたちのプログラムや集会に出席してきました。2013 年 5 月以来、わたしたちはルーテル教会を借りて、毎週の安息日礼拝を行ったり、聖書研究会、また相談サービスなどを提供しています。わたしたちはまた健康講演を行ったり、料理実演やクラスを行ったり、キリスト教また健康的な生き方の書物を配布しています。

今、わたしたちが大いに必要としているのは、礼拝の家とわたしたちの本部のためのオフィスの場所です。これはまたわたしたちの文書を配布できる中央拠点となります。現在賃貸料は高く、わたしたちの資金額は低いです。主がみなさんの心に、主のぶどう畑としてここバンクーバーの必要を印象付けてくださるというのが、わたしたちの切なる祈りです。カナダのこの地において、神の栄光のために礼拝堂が建ちますように、この特別第一安息日献金が集められるときには、どうぞ惜しみない献金をお願いいたします。皆さんに感謝いたします。そして、主が各々の捧げ物と捧げた方を豊かに祝福してくださいますように。

バンクーバーから皆さんの兄弟姉妹より

天における危機

「わたしはその悪のために世を罰し、その不義のために悪い者を罰し、高ぶる者の誇をとどめ、あらぶる者の高慢を低くする。」(イザヤ 13:11)

「サタンの防壁が勝利することは決してない。勝利は第三天使のメッセージに伴うのである。主の万軍の将がエリコの城壁を崩壊させたように、主の戒めを守る民は勝利し、すべての反対要因は打ち負かされるのである。」(牧師への証 410)

推奨文献：人類のあけぼの上巻 1～16

日曜日

9月25日

1. 実際、イエスとはだれか？

- a. 宇宙とその住民の創造におけるイエス・キリストの役割について、わたしたちは何を悟らなければなりませんか (ヨハネ 1:1-3; コロサイ 1:16; ヘブル 1:1, 2)。

「父はみ子によって天のすべての住民をお造りになった。」(人類のあけぼの上巻 3)

- b. すべての被造物と、法令によってわたしたちの救い主となられたキリストとの間には、どのような対照的な違いが存在しますか (ヘブル 1:6-8, 13, 14; ルカ 1:30-35)。

「イエスから、わたしたちの命は引き出されている。このお方のうちには本来の命一借りたものでも、引き出されたものでもない命一がある。このお方のうちに命の泉がある。」(ビュー・アンド・ヘラルド 1914 年 8 月 6 日)

「ご自分の先在性について、キリストは思いを果てしのない時代を通じて過去へ遡らせる。このお方はわたしたちにご自分が永遠の御神と緊密な交わりのうちになかったときは存在しないと保証しておられる。」(サインズ・オブ・タイムズ 1900 年 8 月 29 日)

2. 天の統治

- a. 創造主がつねに宇宙を治めてこられた統治のいくつかの特質は、何ですか（詩篇 89:14; ローマ 7:12）。

「神の律法は人が創造される以前から存在していた。それは聖なる存在の状態に適応しており、天使たちでさえ、それによって統治されている。」（サイズ・オブ・タイムズ 1886 年 8 月 15 日）

「愛の律法が神の統治の基礎であるから、すべての知的存在者の幸福は、その偉大な義の原則に彼らが完全に一致することにかかっている。神は、造られたすべてのものから愛の奉仕、すなわち、神の品性を理解することによってわきおこってくる崇敬を受けることを望まれる。神は、強制された服従をお喜びにならない。そして、神はすべての者に自由意志を与えて、彼らが、自発的に神に奉仕できるようになった。

造られた者がすべて、神に対する愛の忠誠を了承しているうちは、神の造られた全宇宙に完全な調和があった。創造主のみこころをなすことが、天の軍勢の喜びであった。神の栄光を反映することと神への賛美が、彼らの楽しみであった。そして、彼らが神を最高に愛していた間は、互いの間の愛も信頼と無我の精神に満ちていた。そこには、天の調和を破るものは何一つなかった。」（人類のあけぼの上巻 3, 4）

- b. キリストについて、墮落したことのない、聖天使たちの態度は、つねにどのようなものでしたか（黙示録 5:11, 12）。御父は、宇宙の王として、キリストに関してまた、何と宣言されましたか（ヘブル 1:3-6）。

「神のみ子は、父のみ座に共に座をしめられた。そして、永遠、自在の神の栄光が両者を包んでいた。……王なる神は、集まった天の住民の前で、神のひとり子であるキリストだけが完全に神の計画に参与し、神のみこころの大いなる計画を実行することがゆだねられていることを言明なさった。神のみ子は、大ぜいの天使を創造なさったときに、神のみこころを行なわれたのであった。そして、彼らは、神に対すると同じく、み子に対しても、尊敬と忠誠を尽くさなければならなかった。キリストは、この地球とその住民の創造のときにも、神の力を働かされることになっていた。しかし、それにもかかわらず、キリストは、神の計画にそむいて、権力を求めたり、自分を高めたりすることをせず、父の栄光を高め、神の恵みと愛の御目的を実行しようとなさったのである。」（人類のあけぼの上巻 6）

3. 油を注がれたケルブの選択

- a. ツロの王という比喻の下、わたしたちはルシファー、すなわち油を注がれたケルブであり、後に敵であるサタンになった者について、何を学ぶことができますか(エゼキエル 28:11-15)。

「サタンはかつて天において誉を受け、イエス・キリストに次ぐ天使であった。彼の顔は穏やかで、他の天使たちのように幸福を表していた。彼の額は高く、広く、偉大な知性を示していた。彼の姿は完全であった。彼の物腰には気高さと威厳があった。」(霊的賜物 1 巻 17)

「サタンは天の聖歌隊を指揮していた。彼はかつて初めの音をあげていた。すると、天使の万軍がみな彼に一致して加わり、栄光に満ちた旋律が神とそのいと子の誉れのうちに天を通じて鳴り響いたのであった。」(預言の霊 1 巻 28)

- b. 何がルシファーを墮落へと導きましたか(エゼキエル 28:17 (上句))。

「ルシファーは、少しずつ自己を高めようという野望にふけるようになった。……この偉大な天使の栄光のすべては神から与えられたものであったにもかかわらず、彼はそれを自分のものであるかのように思うようになった。彼は、天の軍勢にまさる大いなるほまれを受けていたが、自分の地位に満足しないで、創造主だけに向けられなければならない尊敬を受けたいと望むようになった。彼は、神をすべての被造物の愛と忠誠を受ける最高のかたとするかわりに、自分で彼らの崇敬と忠誠を受けようと努めた。そして、この天使のかしらは、無限の父である神がみ子にお与えになった栄光をほしがり、ただキリストだけが持つておられた力を自分のものにしようと熱望した。」(人類のあけぼの上巻 4, 5)

- c. 妬みと嫉妬の精神は、どれほど制御しがたいものですか(箴言 27:4; 6:34)。
御父、御子、そして天使たちがルシファーと論じようとしたときに、何が起こりましたか。

「創造主に仕えるかわりに、自分のために働こうとするルシファーの気質を見て、神の栄光を第一義的に考えたものたちは、不安の念に捕われた。……しかし、無限の愛とあわれみによって与えられた警告も、ただ彼に反抗の精神を起こさせるだけであった。ルシファーはキリストへのしつとに燃えて、ますますかたくなになっていった。」(同上 5)

4. 巧妙な欺瞞

- a. ルシファーがとった奇妙な態度について、イザヤに何が示されましたか（イザヤ 14:12-14）。

「天使たちは、快くキリストの主権を認めて、キリストの前にひれ伏して、彼らの愛と崇敬の念をあらわした。ルシファーは、彼らとともに頭をたれた。しかし、彼の心の中には、奇妙な激しい葛藤があった。……ルシファーは、彼に授けられた大いなる栄誉を、神の特別の賜物として認めなかったので、創造主に対する何の感謝の念も表わさなかった。彼は自分の輝きと高い地位を誇り、神と等しくなろうと欲した。」（人類のあけぼの上巻 6, 7）

- b. ルシファーの態度は、どのように天を混乱させましたか（ヤコブ 3:16）。

「神のみ子が父と同等に高められたことは、自分も同様に崇敬と栄誉を受けるべきだと主張していたルシファーにとって不正行為を意味した。もしも、この天使のかしらが、彼の当然到達すべき高い地位につくことができれば、それは天の全軍に、大きな利益をもたらす。なぜならば、彼のねらいはすべての者に自由を確保することだからである。ところが、今まで彼らに与えられてきた自由さえ、もう失われた。なぜなら、独裁的支配者が、彼らの上に任命され、その権威にすべての者が従わなければならないからである。これは、巧妙な欺きであり、ルシファーのたくらみによって、天の宮廷に急速に広がっていった。

キリストの地位、または権威には何の変化もなかった。……ところが、多くの天使たちは、ルシファーの欺きに惑わされていた。

ルシファーは、自分の配下の天使たちが、彼を愛し、真心から信頼しているのを利用して、巧みに彼らの心に彼自身の不信と不満の精神とを吹き込み、それが彼のしわざであることが、だれにも気づかれないようにしていた。ルシファーは、神のみこころを曲げて伝え、誤解と曲解によって、紛争と不満をかきたてた。彼は、巧妙に彼の話聞いた者たちにその感情を口にするように導き、自分に好都合のときには、天使たちのそのようなことばを利用して、彼らが神の統治と完全に調和していない証拠としてあげた。……彼は、最高の狡猾さをもってひそかに不和と反逆を培養しながら、自分の唯一の目的は、忠誠心を促し、調和と平和を維持することであるかのように装っていた。

こうして、不満の精神は、たきつけられた。」（同上 7, 8）

5. 反逆の結果

- a. 大欺瞞者がついに天においてあからさまに反逆を扇動したとき、その結果は何でしたか（黙示録 12:7-9）。彼の結末はどのようなになりますか（イザヤ 14:15-17）。
- b. 天での戦いにおいて危機にさらされた本当の対象は何でしたか（詩篇 119:126）。

「〔ルシファー〕は、天使たちを支配していた律法に対する疑惑をほのめかし始めた。そして彼は、諸世界の住民にとって、律法は必要であろうが、天使たちは、彼らよりもすぐれたものであり、自分自身の知恵が十分な道しるべとなるから、こうした制限は不必要であると言った。」（人類のあけぼの上巻 7）

- c. この危機を扱う際に、何が神の完全な知恵を表しますか（ユダ6; コリント第一 6:3（上旬）；ピリピ 2:10, 11）。

「もしもサタンが、直ちに滅ぼされてしまったならば、愛からではなく、恐れから神に仕えるものも起こったことであろう。欺瞞者の影響は完全にぬぐい去られず、反逆の精神も根絶されなかったことであろう。全宇宙の永遠の福祉のために、サタンに、彼の主義主張をもっと展開させなければならなかった。それは、すべての造られた者が、神の統治に対するルシファーの非難の正体をほんとうに悟るためである。そして、神の公平とあわれみ、神の律法の不変性に対する疑惑が永久に除かれるためである。」（同上 15）

個人的な復習問題

1. キリストがどなたであるかについてよくある誤った概念に対し、わたしたちはどのように答えることができますか。
2. なぜ、神の統治は均整がとれ、また正義であると言えるのでしょうか。
3. ルシファーの問題の根は何でしたか。
4. 天の麗しい調和を損なった彼の足跡をたどりなさい。
5. 神はなぜ簡単にサタンの存在を直ちに取り除かれなかったのですか。

荒野における声

「呼ばれる者の声がする、『荒野に主の道を備え、さばくに、われわれの神のために、大路をまっすぐにせよ。』」（イザヤ 40:3）

「キリストの再臨の先駆けとなるわたしたちの働きは、キリストの初臨に際してさきがけであったバプテスマのヨハネの働きと似ている。わたしたちは世に『主の大きな日は近づいた』『あなた方の神に会う備えをせよ』というメッセージを宣布しなければならない。」（キリストを映して 201）

推奨文献： 教会への証 8 巻 9-13

日曜日

10月2日

1. 落胆している者のための希望

- a. イザヤがペンに記するように導かれた最も愛されているメッセージの一つは何です（イザヤ 40:1, 2）。

「神の憐れみの契約により、神はご自分の民がその敵の前に受けた厳しい懲らしめの後に、彼らのために介入された。イスラエルは神の知恵と義の代わりに自分自身の知恵と義のうちに歩むことを選んできた。そしてその結果として、その国家は破滅した。神は彼らが二重のくびきに苦しむことを許された。それによって、彼らがへりくだり、悔い改めることができるためであった。イスラエルが散らされ、捕囚となっていたときに、ユダヤ人は希望のないままに放っておかれたのではなかった。励ましが彼らに与えられた。なぜなら、この屈辱の間に彼らは主を求めるように導かれるからであった。神はイザヤにこの民のためのメッセージをお与えになった〔イザヤ 40:1, 2 引用〕。

「ユダヤ人がエルサレムから散らされたときに、彼らの中には原則に対して岩のような青年男女、すなわち主が彼らをご自分の民と呼ばれることを恥じるような道を歩まなかった男女がいた。これらの人々は、自分たちが防げなかった背教を心から悲しんだ。これらの無実の人々は有罪な人々と共に苦しまなければならなかった。しかし神は彼らにその時代のために充分な力をお与えになるのであった。励ましのメッセージが送られたのは彼らのためであった。国家の希望は、自分たちの高潔さを守るこれらの若い青年男女にかかっていた。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 4 巻 1144）

2. 預言された使命者

- a. どのような描写をもって、イザヤはバプテスマのヨハネのことを預言しましたか（イザヤ 40:3; ルカ 3:2-4）。ヨハネはどのような意味において『荒野の声』でしたか。

「預言者ヨハネが任命された大いなる働きがあったが、彼が所属することのできる学校は地上になかった。彼は、都市から離れた荒野で自分の学びを習得しなければならなかった。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 5 巻 1115）

- b. 自分の前にいたイザヤやエリヤのように、ヨハネが自分の生涯の働きを実行する際、人々を恐れず立つことができたのは、何のためでしたか（イザヤ 33:17; 6:5）。

「ヨハネは自分が社会で出会う誘惑の大きな力に立つだけの強さを持っていないと感じた。彼は自分の品性が蔓延しているユダヤ人の習慣に従って形成されることを恐れたために、自分の学校として荒野を選んだ。そこで彼の思いは神の偉大な自然の書から、適切な教育と訓練を受けることができるのであった。荒野でこそ、ヨハネは自分自身を否定し、自分の食欲を抑制し、自然の単純さに従って衣服を着る用意がよりよくできるのであった。そして、荒野では彼の思いを瞑想と祈りからそらせるようなものが何もなかった。サタンは、彼が自分の力が及ぶ限り、サタンが入ることのできる道をすべて閉ざした後もヨハネに近づいてきた。しかし、彼の生活習慣が非常に純潔で自然であったために、彼は敵を見分けることができ、サタンに抵抗するための霊の強さと品性の決断力を持っていた。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 5 巻 1115）

「聖なる御霊の導きの下、〔ヨハネ〕は預言者たちの巻物を研究した。昼に夜に、キリストが彼の研究課題であり、彼の瞑想であって、ついに思いと心と魂は栄光に輝く幻に満たされた。

「ヨハネは王の美しさをながめて、自分を忘れた。彼は尊厳な聖潔を見て、自分が無能力で無価値なことを感じた。彼が宣布しなければならないのは、神のメッセージであった。彼は、神のみ力とこのお方の義のうちに立つのであった。彼は神を仰ぎ見ていたので、人をおそれることなく、天の使者として出て行く用意ができた。彼は王の王であられる神の前に低く腰をかがめていたので、地上の君主たちの面前に恐れることなくまっすぐに立つことができた。」（福音宣伝者 54）

3. まっすぐな大路を作る

- a. 史上まれな賢人は、墮落した人類の状態をどのように要約しましたか（伝道の書 1:15）。それにもかかわらず、バプテスマのヨハネは、イザヤの預言と調和して、どのような希望に満ちたメッセージを伝えることになっていましたか（イザヤ 40:4; ルカ 3:5）。

「神がなしうることは、人のためにすべてなされた。すべての不足は予測され、すべての困難、すべての危急時のために備えがなされていた。曲がった場所はまっすぐにされ、荒い場所はなだらかにされた。であるから、もし不信を抱き、聖霊の働きに抵抗するならば、裁きの日に許されることはない。」（クリスチャン教育の基礎 251）

- b. 終わりの時代にわたしたちは、どのように考え及びもしなかったような方法で聖霊にわたしたちを通して働いていただくべきですか（イザヤ 40:5; ルカ 3:6）。

「主は〔バプテスマのヨハネ〕にそのメッセージをお与えになった。彼は自分がこのメッセージを伝えるべきかを聞くために祭司や役人たちのところへ行ったであろうか。否、彼らの精神や教えに感化されることがないように、神はヨハネを彼らから遠ざけられた。彼は荒野で叫ぶ声であつた、〔イザヤ 40:3-5 引用〕。これこそ、わたしたちの民に伝えられなければならないメッセージである。わたしたちは時の終わりに近づいている。そしてメッセージは、大路を設けよ。石を取りのけ、もろもろの民の上に旗をあげよ、である。民は目覚めさせられなければならない。平安と安全を叫んでいる時ではない。」（セクレット・メッセージ 1 巻 410）

「特別な才能を持っている人々に、人生の低い場所でも同様に高い場所でも、未信者たちのために働かせなさい。滅びつつある魂を勤勉に探しなさい。……

あなたの光をはっきりと確かな光線のうちに輝かせなさい。裁きの日にだれかが立ち上がって、次のように言うことがないためである。『なぜあなたはこの真理についてわたしに教えてくれなかったのか。なぜわたしの魂を心にかけてくれなかったのか』。

そうであれば、わたしたちは自分たちと同じ信仰でない人々の間で用いるために注意深く準備された文書を熱心に配布しようではないか。わたしたちは未信者の注意をとらえるすべての機会を最善に活用しよう。文書を受け取るすべての人の手に置くではないか。次のメッセージを宣布するために献身しよう、『荒野に主の道を備え、さばくに、われわれの神のために、大路をまっすぐにせよ』（イザヤ 40:3）！いまわたしたちの責任の時代である。」（管理者への勧告 189, 190）

4. 軽視されるべきではないへりくだり

- a. どの時代を超えた原則が、神はどのように、心から神のみ事業を促進しようとしている人々の努力を最も小さなものでさえ成功をもって報いることがおできになることを示していますか（ゼカリヤ 4:9, 10）。

「世の中では、虚飾と誇示をもつて事を始めるのがならわしである。しかし神は、小さい事の日を真理と義の輝かしい勝利の出発点となさるのである。神は時々彼らに、失望と一見失敗と思われるものを与えて、神の働き人を訓練なさるのである。彼らが困難を征服することを学ぶのが、神のみこころである。……

もし彼らが最初に持った確信を、しっかりと終わりまで持ち続けるならば、神は彼らの道を開いてくださるのである。成功は困難と戦う人々に与えられる。ゼルバベルの勇敢な精神と揺るがぬ信仰の前に、大きな困難の山は平地となるのである。そして、基礎をすえた、『彼の手はこれを完成する』。『彼は、「恵みあれ、これに恵みあれ」と呼ばわりながら、かしら石を引き出すであろう』（ゼカリヤ書 4:9,7）。」（国と指導者下巻 200）

- b. この暗い惑星の住民を啓発するために、わたしたちはどの手段を通して、神に協力することができますか（ゼカリヤ 4:6）。

「主はこの最後の働きを通常の物事の順序とは非常に外れた方法、そしてどんな人間の計画とも相反する方法で働かれるであろう。わたしたちの中にはいつも神のみ働きを支配したが、また世に伝えられるべきメッセージにおいて第三天使に加わる御使の指示の下で働きが前進するときに、どのような動きがなされるかでさえ指図したがる人々がいるであろう。神はご自身の御手のうちに手綱をとっておられることがわかるような方法と手段をお用いになるであろう。働き人たちはこのお方がご自分の義の働きを進め、完成するためにお用いになる単純な方法に驚かされるであろう。」（牧師への証 300）

- c. わたしたちが担うように召されているメッセージは、どのようにバプテスマのヨハネのメッセージの最初の部分を反映していますか（マタイ 3:2; ルカ 3:8-14）。

「〔マタイ 3:2 引用〕。この同じメッセージは、わたしたちの印刷所からの出版物を通して、今日、世に伝えられなければならない。」（教会への証 7 巻 139）

4. バプテスマのヨハネ以上に大いなる者はいない

a. ヨハネの教えの目的を説明しなさい (マタイ 3:4-12)。

「キリストはヨハネが担ったものと同じメッセージを担われた。〔マタイ 4:17 引用〕。しかし、ヨハネは荒野で宣布したが、キリストの働きは人々の間でなされた。それはこのお方が罪人のいるところで彼らに会うことがおできになるためであった。このお方はご自分の長い人間のみ腕で人類を抱き、その一方で神のみ腕で無限の御座をつかんで、有限な人間を無限の神に結びつけ、地を天とつながれたのである。」(レビュー・アンド・ヘラルド 1899 年 8 月 15 日)

b. ヨハネはヘロデの前にどの戒めを提示しましたか。その結果は何でしたか (マルコ 6:17-29)。イエスは、ヨハネについて何と言われましたか (ルカ 7:28)。

「ヘロデは、ヨハネの力強く、するどいことばをきいて心を動かされ、深い興味をもって彼の弟子になるにはどうすべきかを問うた。ヘロデは、自分の兄弟がまだ生存しているのに、その妻をめとろうとしていた。ヨハネはそのことを知っていたので、それが正しくないことを忠実にヘロデに告げた。ヘロデはどんな犠牲もはらいにくなかった。ヘロデは兄弟の妻と結婚し、彼女の影響で、ヨハネを捕えて投獄した。しかし、いずれヨハネを釈放するつもりだった。……まもなくヨハネは、ヘロデの妻のさしがねで首をはねられた、イエスに従い、イエスの奇跡を目に見、イエスの唇から出る慰めのことばを耳にききたいやしい弟子たちさえも、バプテスマのヨハネよりはまさっていたこと、すなわちヨハネよりも高められ、光栄を与えられ、生活によるこびをもっていたことをわたしは見た。」(初代文集 268)

個人的な復習問題

1. 神はご自分の懲らしめのつえに服するすべての者に、どの希望を提供しておられますか。
2. ヨハネの環境についての懸念から、わたしたちは何を学ぶべきですか。
3. どのようにわたしたちの出版物が、わたしたちが生存している時代に特に助けとなることができますか。
4. 神は世を啓発するご自分の方法において、なぜわたしたちを驚かされるのですか。
5. バプテスマのヨハネの生活と奉仕から、学ぶことのできるいくつかのことは何ですか。

メシヤに会う

「主は牧者のようにその群れを養い、そのかいなに小羊をいだし、そのふところに
入れて携えゆき、乳を飲ませているものをやさしく導かれる。」(イザヤ 40:11)

「イエスは良い羊飼いでられる。このお方はご自分の弱く病気ににかかった迷っ
ている羊に心をかけておられる。このお方は彼らをみな、名をもってご存じである。
ご自分の群れのすべての羊、すべての小羊の苦悩はこのお方の同情的な愛の心に
触れ、助けを求める叫びはこのお方の耳に届く。」(教会への証 5 巻 346)

推奨文献： 教会への証 5 巻 629-635

日曜日

10月9日

1. 神の力とわたしたち死すべき人間の弱さ

- a. わたしたちが将来の計画を考えると、何を覚えているべきですか(イザヤ
40:6-8)。他にどのような描写がまた神の偉大さを示し、また同時に科学的な
情報の一片を述べていますか(イザヤ 40:22 (上句))。

「今日、世の人々は、最後の重大な危機を前にして、ノアの洪水前の人々と同じ
ように、享楽に心を奪われ、肉欲にふけっている。彼らは目の前のはかないものに
夢中になって、目に見えない永遠のものを見おとしている。使えばなくなるような物
のために、彼らは、滅びることのない富を犠牲にしている。彼らの思いは高められ、
彼らの人生観は広くされなければならない。世俗の夢をむさぼっている彼らは、そ
の惰眠から目ざめなければならない。

聖書のページに明らかにされている諸国民の興亡を通して、われわれは、単なる
外面的で世俗的な栄光がどんなにむなしいものであるかを学ばなければならない。
後世にその例を見ないほどの権力と栄華を誇ったバビロン—当時の人々には、堅固
で永遠に続くように思われていた権力と栄華をもったバビロンは、跡かたもなく消
え失せた。それは、『草花のように』滅びてしまった。根本に神を持っていないも
のはすべて滅びる。神の御目的と結合し、神のご品性を表わすものだけが永続す
ることができる。神の原則だけが、世に知られるかぎりの唯一の不変なものである
。」(教育 217)

2. 唯一の真の神

- a. イザヤがキリストのエルサレムへの勝利の入場を預言したとき、彼はメシヤの働きについて何を明らかにしましたか (イザヤ 40:9-11)。

「第三天使のメッセージの真理は、ある人々によって乾いた理論として提示されてきた。しかし、このメッセージにおいて、キリストは生きたお方として提示されなければならない。このお方は最初であり最後であるお方として、わたしは有るというお方、ダビデの根であり、若枝として、輝く明星として明らかにされなければならない。このメッセージを通して、神のご品性がキリストのうちに世に表されなければならない。」(教会への証 6 巻 20)

「キリストのうちには、牧者のやさしさ、親の愛情、あわれみ深い救い主の比類のない恵みがある。キリストは、最も魅力のあることばで祝福をお与えになる。主はそうした祝福を宣言されるだけでは満足されない。主は、それらの祝福を、自分のものにしたいという願いを起こさせるように、最も魅力的な方法で提供される。キリストのしもべたちも同じように、言いあらわしようのない賜物であるキリストの栄光の富を紹介するのである。教理の単なるくりかえしでは何一つできないときに、キリストのすばらしい愛は心をとかし、これに従えるのである。……「万人にぬきんで……はなはだ美しい」 おかたについて人々に告知知らせなさい (雅歌 5:10,16)。ことばだけではそれを語るができない。それを品性に反映し、生活にあらわそう。……ひとりびとりを通して、キリストの寛容と愛、聖潔、柔和、あわれみ、真理が世にあらわされるのである。」(各時代の希望下巻 376, 377)

- b. わたしたちは救いのためにどこを見るべきですか。それはなぜですか (イザヤ 45:21, 22)。

「心を尽くしてイエスの許へ来なさい。自分の罪を悔い改め、神に告白し、すべての悪を捨てなさい。そうすればあなたは自分にこのお方のすべての約束をあてはめることができる。」(教会への証 5 巻 634)

「わたしたちの教会員は自分の目を十字架につけられよみがえられた救い主、すなわち自分たちの永遠の命の希望が集中しているお方に留め続けないであろうか。これがわたしたちのメッセージであり、わたしたちの論拠、わたしたちの教理、悔い改めない者へのわたしたちの警告、悲しんでいる者へのわたしたちの励まし、すべての信徒のための希望である。もし人の思いにキリストに目を留めるさせるような関心を目覚めさせることができたなら、わたしたちはわきへ退き、彼らにその目を神の小羊に留め続けてほしいと頼むのである。彼らはこうして自分たちの教訓を受ける。」(SDA パイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 6 巻 1113)

3. 永続的な一致

- a. 主はご自分がご自分の子らに対して持つておられる優しい心遣いを、どのように描写されますか（イザヤ 49:15, 16; マタイ 12:50; ガラテヤ 3:29）。わたしたちはこれらの子らの中にだれが含まれることを確信することができますか。

「キリストの苦難と恥辱に今あずかる人々は、この先このお方の栄光にあずかるようになる。このお方は『彼らを兄弟と呼ぶことを恥とされない』（ヘブル 2:11）。このお方の天使たちは彼らに奉仕する。このお方の再臨は、人の子としてであり、こうしてご自分の栄光のうちにあってさえ、このお方はご自身を人類と同一視なさる。自らをこのお方に結合させてきた人々に、このお方は次のように宣言される、『母親が自分の子を忘れるようなことがあっても、「わたしは、あなたを忘れることはない。見よ、わたしは、たなごころにあなたを彫り刻んだ。あなたの石がきは常にわが前にある。』（イザヤ 49:16）。あなたはわたしの前にあり続ける。」……

生きた信仰によるキリストとの結合は永続的なものである。すべての他の結合は消滅しなければならない。キリストがまずわたしたちを選び、わたしたちの贖いのために無限の値を払ってくださった。そして真の信徒は、キリストを万事における最初、最後、最上として選ぶのである。しかし、この結合はわたしたちに何らかの代償を求める。それは誇り高い存在が入らなければならない、完全な依存という結合である。この結合を形成するすべての人々は自分たちがキリストの贖罪の血を必要としていると感じなければならない。彼らは心の変化を持たなければならない。彼らは自分自身の意志を神のみ旨に屈服させなければならない。内外の障害との苦闘があるであろう。付着という働きと同時に、分離という痛みを伴う働きがなくてはならない。誇り、利己心、虚無、世俗—あらゆる形態の罪—は、もしキリストとの結合に入りたいのであれば、勝利しなければならない。多くの人がクリスチャン人生を嘆かわしいほど困難なものだと思う理由、彼らが非常に移り気で、気まぐれで、変わりやすいその理由は、彼らが最初にこれらの大事にしている偶像から自分を引き離すことなく、キリストに付着しようとするからである。」（教会への証 5 巻 230, 231）

- b. 良い羊飼いの導きにわたしたちの全存在を明け渡すとき、どのような保証がもたらされますか（詩篇 36:7; 34:22）。

「自ら人性をおとりになったイエスは、人間の苦痛に同情する方法を知っておられる。キリストはひとりびとりの魂とその魂の独特の要求や試練を知っておられるばかりでなく、心をいらだたせ、困惑させる事情もいっさいご承知である。彼は苦しんでいる神の子ひとりびとりに対してあわれみと優しさをもってみ手をひろげておられる。最も苦しむ者が最も多くそのあわれみと同情を受ける。イエスはわたしたちの弱さに心動かされ、わたしたちが自分の困難や悩みをイエスの足もとにおくように望んでおられる。」（ミニストリー・オブ・ヒーリング[®] 227）

4. 律法を拡大する

- a. イエスは、闇の中にいる魂のために、わたしたちがどの働きをすることを望んでおられますか (イザヤ 42:5-7)。

「民として、わたしたちは再び改心しなければならぬ。わたしたちの聖化された生活が、イエスのうちにあるがままの真理を宣言しなければならない。わたしたちの出版物をまく働きによって、わたしたちは救い主の愛を、温かい脈打つ心から語ることができる。神だけが罪を許す力を持っている。もしわたしたちがこのメッセージを改心していない人々に語らないならば、わたしたちの怠慢が彼らの破滅であることを示すようになる。祝福された魂を救う聖書の真理がわたしたちの紙面に出版されている。わたしたちの定期刊行物を販売する働きにおいて助けることのできる人々が多くいる。主はわたしたちすべての者に、滅びつつある魂を救うために探すよう求めておられる。サタンは選民を欺こうと働いている。であるから、いまこそわたしたちが油断なく働くべき時である。わたしたちの書物や刊行誌が、人々が注目するよう持ち出されなければならない。現代の真理の福音が遅滞なく諸都市に伝えられなければならない。わたしたちは自分たちの義務に目覚めるであろうか。

もしわたしたちがキリストの生活と教訓を自分たちの研究課題としているならば、すべての過ぎ行くできごとが一つの聖句を印象深い説教とする。こうして救い主は福音を大路や垣根に宣布されたのであった。そしてこのお方が語られたとき、このお方の話を聞く小さなグループは大きな群れへと膨らんでいったのであった。」(教会への証 9 巻 63)

- b. 神はご自分の律法をどのようにご覧になりますか (イザヤ 42:21)。わたしたちはこのことから何を学ぶことができますか。

「わたしたちは教会員と、また何も公言しない人々を目覚めさせ、天の律法の要求を認めて従うよう奮闘しなければならない。わたしたちはこの律法を拡大し、それを誉あるものとしなければならない。」(レクティッド・メッセージ 2 巻 403)

「まさに幾時代も前にシナイ山から律法を語られたお方が、今やそれを拡大し、誉あるものとするために来られた。ご自分の山上の垂訓において、このお方は律法を説明し、それぞれの規則に何が含まれているかを示された。食欲はこのお方によって偶像礼拝であること、情欲は姦淫、怒りは殺人であることが示された。このお方は律法の霊性を明らかにされ、それが生活のすべての面に至ることを指し示された。

全天の前で、墮落していない天使たちの前で、このお方が救うために来られた人々の前で、キリストは神の律法を生きた。その要求に対するご自分の最高の従順によって、このお方はそれを高め、強化された。……

キリストが人性において律法を生きたように、わたしたちも強さを求めて力強いお方をつかむならば、そうすることができる。」(サインズ・オブ・タイムズ 1897 年 3 月 4 日)

5. 自分たちの目と耳を守る

- a. 自分たちの目と耳を、主はわたしたちがどうするように望んでおられますか（イザヤ 42:19, 20）。なぜですか。

「神はわたしたちが聞こえるものを何でも聞き、見えるものを何でも見ることを望んでおられない。聞こえないように耳を閉じ、見えないように目を閉じることは大きな祝福である。最大の懸念は、自分たちの欠点を識別するためのはっきりとした視力と、必要な譴責と指示をすべてとらえる素早い耳を持つこととなるべきである。それはわたしたちの油断と不注意によってそれを聞き漏らし、聞いても忘れる者、働きを行わない者とならないためである。」（教会への証 1 巻 707, 708）

「自分の思いと魂が食するため何を与えるかということはことごとく違いをもたらす。わたしたちは自分の思いがロマンスや空中楼阁にふけることを許すことはできない。それらはわたしたちに何をなすであろうか。それはわたしたちを、魂と体を破滅させる。……わたしたちは自分たちを高めることをせず、高尚にせず、自分たちをきよめず、精錬しないような光景に対して目を閉じることができ力が欲しいのである。そして神のみ言葉が禁じているすべてのことに耳を閉じ続ける力が欲しいのである。このお方はわたしたちに悪を思いはかること、悪を語ること、そして悪を考えることでさえ禁じておられる。」（わたしたちの高い召し 334）

- b. 神はわたしたちに何を見ることを望んでおられますか（ヘブル 12:1, 2）。

「イエスを見て、このお方のご品性の麗しさを考えなさい。そうすれば眺めることによって、わたしたちは同じ姿へ変えられていくのである。」（同上）

個人的な復習問題

1. 死すべき運命にある人間であることを自覚すると、どのように人生においてより良い展望が与えられますか。
2. どのような方法で、わたしたちはイエスとその愛を他の人々に語るべきですか。
3. キリストとの本物の結合の深さを説明しなさい。
4. どのような意味において、キリストはご自分の教えと模範によって律法を拡大されましたか。
5. わたしたちはどのようなものに対して、自分たちの目と耳を閉じているべきですか。

創造主の慰めと保護

「〔神のしもべ〕は衰えず、落胆せず、ついに道を地に確立する。海沿いの国々は
その教を待ち望む。」（イザヤ 42:4）

「神のみ言葉を研究することによって、わたしたちは自分たちの弱さ、自分たちの
疑いのままに放っておかれることはないこと、また失望の下に沈んでしまうようなこ
とはないことがわかる。信仰を語り、信仰を行いなさい。愛によって働き、魂を清
める信仰を培いなさい。」（ビュー・アソッド・ヘラルド 1896 年 5 月 19 日）

推奨文献： ミニストリー・オブ・ヒーリング 3-8

日曜日

10月16日

1. わたしたちのための型

- a. 御父なる神はわたしたちにすべての者にどこを見るように強く訴えられますか。そ
それはなぜですか（イザヤ 42:1）。

「イエスは 世の人にとっていやしの恵みの泉であつた。ナザレで人目につかず暮
しておられた年月の間、イエスのいのちは同情とやさしさという流れとなつて人々に
そそがれた。老人たちも、悲嘆にくれている者たちも、罪の重荷を負っている者た
ちも、無邪気によろこんで遊んでいる子供たちも、森の小さな動物たちも、荷物を
つけた忍耐強い動物たちも、イエスがいらつしやればみなもつと幸福になった。権
威のこぼれをもつてもろもろの世界をささえられたおかたが、身をかがめて、傷つい
た小鳥を救っておやりになるのだつた。イエスの目にとまらないものは何もなく、イ
エスが奉仕する価値がないと思われるものは何もなかった。

こうしてイエスは、知恵と身のたけが成長されるにつれて、ますます神と人にと愛
された。……イエスのまわりには望みと勇気の雰囲気がとりまいていたので、彼はど
この家庭においても祝福となられた。……

イエスは日常の平凡なことにおいて天父をよろこばせ、あがめ、そのみ栄えをあら
わすために生活された。イエスの働きは、日々の食物のために骨折つて働く職人の
いやしい手仕事を神聖にすることから始められた。彼は大工の仕事台で働いておら
れるときも、群衆のために奇跡を行なつておられる時と同じに、神への奉仕をして
おられた。キリストがそのいやしい家庭において示された忠実と従順の模範になら
う青年はだれでも……イエスについて……お語りになった次のことばを自分のものと
することができ『わたしの支持するわがしもべ、わたしのよろこぶわが選り人を見よ』
（イザヤ 42:1）」（各時代の希望上巻 67～69）

2. 他にない教師の長

a. イエスの声についてのイザヤの預言は何を意味していますか (イザヤ 42:2)。

「キリストのみ声は、通りでは、すなわちこのお方の教理に反対する人々とのやかましい争いの中では聞かれなかった。このお方のみ声はまた、人に聞かせるために街路で御父に捧げる祈りの中でも聞かれなかった。このお方のみ声は楽しい浮かれ騒ぎの中で聞かれることはなかった。このお方のみ声がご自分を高めたり、人から称賛やへつらいを受けたりするために上がることはなかった。教えの働きに携わるとき、このお方は弟子たちを都市の騒音や混乱から、どこかもっと謙遜と敬神と徳の教訓と調和した奥まった場所、すなわち彼らの思いに印象を与えることのできる場所へ退かせた。このお方は人の称賛を遠ざけ、人間の生活の騒音や混乱よりも、辺びで平和な奥まった場所を好まれた。このお方のみ声はしばしば熱心で優勢な御父へのとりなしのうちに聞かれた。それでいながら、これらの働きのために、このお方は孤独な山を選ばれ、しばしばご自分が直面しなければならぬ誘惑の下で支えられるように、またご自分がなすために来られた人の救いのための重要な働きを成し遂げるために力を求めて夜を徹して祈られた。このお方の嘆願は熱心で、強い叫びと祈りが混じっていた。そして夜の間の魂の労働にもかかわらず、このお方は昼を通してご自分の労働をやめられなかった。朝になるとこのお方は静かにご自分の憐れみと私欲のない慈愛の働きを始められるのであった。」(預言の霊 2 巻 30, 31)

「救い主は、彼の時代の教師たちとは全く対照的に、人々の間で行動すべきであった。彼の生涯には、騒がしい議論や仰々しい礼拝、人の賞賛を得ようとする行為は、何一つ見られてはならなかった。メシヤは神のうちに隠れ、み子の品性のなかに神があらわされなければならなかった。」(国と指導者下巻 293)

b. イエスの言葉を聞いた人々は、このお方の話し方について何と言いましたか (ヨハネ 7:46)。

「イエスはわたしたちの模範であられる。このお方のみ声は音楽のようで、人々に語られるときに、決して高く、はりあげた調子になることはなかった。このお方は早すぎて言葉が次々と重なり、理解するのが難しくなるような話し方はされなかった。このお方は一言一言、明確に発音された。」(ビュー・アノド・ヘルト 1895 年 3 月 5 日)

「〔二階の広間で弟子たちは〕残酷な釘で傷つけられたその手と足を見た。彼らは、かつて聞いた声にはかならない主の声をみとめた。」(各時代の希望下巻 340)

3. 他の人々に手を差し伸べる

- a. イザヤは他にイエスについて何を預言しましたか（イザヤ 42:3）。主の働きには何が含まれていますか（ヨハネ 10:16; マタイ 12:20, 21）。

「教会は自分たちの民の外で適切に働くための教育を受けてこなかった。もし真理の前進的な光を持っていると主張するすべての国のすべての教会員が、真理に魂を勝ち取るために心と魂と声をもって働いてきたならば、教会の外にいる多くの魂は啓発され、教会の中にはもっと大規模な光がもたらされていたはずであった。教会員によって、光を必要としている人々、すなわちセブンスデー・アドベンチスト教会の外にいる人々のための働きがあまりにもわずかしかなされてない。……主はすべての魂の義務を示してこられた。裁きの時に、だれ一人として自分の義務を果たさなかったことに言い訳できる者はない。」（牧師への証 127, 128）

「キリストの心にとって問題の所在そのものが、助けを求める声である。貧しい者、病んでいる者、孤独な者、見捨てられた者、失望している者、落胆している者は、このお方のうちに同情深い救い主、力強い癒し主を見出した。……キリストは苦しむ人類と利害を一つにされる。そしてこのお方はわたしたちに、苦しむ者を救済するためになすことは何でも、ご自分のためにしているのであると言われる。」（医事伝道 121）

- b. 何の目的のためにイエスはこの世に來られましたか（ヨハネ 3:17）。何が、罪人に対するこのお方の忍耐を示していますか

「ユダは、弟子たちに加わったとき、キリストの品性の美しさに気がつかなかったわけではなかった。彼は、魂を救い主にひきよせている神の力の感化力を感じた。『いためられた葦を折ることがなく、煙っている燈心を消すこともない』ためにおいになったイエスは、たった一つの思いでも光に向けられている間は、この魂を拒絶しようとされなかった（マタイ 12:20）。救い主はユダの心をお読みになり、ユダが神の恵みによって救われなければ不義の深みに沈んでしまうことをご存じだった。この男をご自分に結びつけることによって、イエスは、ご自身のわきあふれる無私の愛に日々ふれることのできる場所に彼を置かれた。もしユダが心をキリストに向かつて開くなら、神の恵みは利己主義という悪鬼を追い出し、たとえユダでも神のみ国の住民となることのできるのであった。」（各時代の希望上巻 379, 380）

「イエスは〔ユダ〕の魂を求めておられた。主は、滅ぶべき都エルサレムについて泣かれたときこの都に対して感じられたような重荷を、ユダに対して感じておられた。主は、どうしておまえをあきらめることができようと、心の中で泣いておられた。この迫る愛の力をユダは感じた。」（同上下巻 120）

4. 失望させることのない助け手

- a. 困難な状況に対するイエスの態度は何でしたか。またこの模範はどのようにわたしたちの助けとなりますか（イザヤ 42:4）。

「〔イエス〕は人を見出し出した通りのまま、すなわち墮落に染み、悪徳によって墮落し、罪によって腐敗し、背信においてサタンと結託した存在として受け入れ、彼を高めてご自分の御座に座らせるために、人間の悲惨さと苦悩の最も低い深みにまで来られた。しかし、このお方について、『彼は衰えず、落胆せず』と記されている。そしてこのお方はわたしたちにご自分のみ足の後に従うようにと模範を残しながら、自己否定と自己犠牲の道を進んで行かれた。わたしたちは自分自身の楽しみから離れ、サタンのわいろを退け、安逸を嫌悪し、利己心を忌み嫌って、イエスが働かれたように働くべきである。それによってわたしたちが失われている者を尋ねだして救い、魂を闇から光、すなわち神の愛の光へ導き入れることができるためである。わたしたちには、出て行って、すべての被造物に福音を宣布する任務が与えられている。わたしたちは失われた者に、キリストは罪を許すことができ、性質を新しくすることができ、魂をご自分の義という衣で覆うことができ、罪人をご自分の正しい思いへと導き、教え、神と共に働く者としてふさわしい者にしてくださるという知らせを伝えなければならない。」（クリスチャン教育の基礎 199）

- b. 自分の領域において神のために働くことを求めているすべての人に、どの保証がもたらされますか（イザヤ 40:30, 31）。

「神のみ言葉の保証をつかむために青年たちの前には、なんと素晴らしい可能性があるのであろう。人間の思いは、自分たちが神性にあずかるときに霊的にどこまで到達できるかをほとんど理解できない。日々間違いを正し、勝利を得ながら、彼らはキリストにあつて賢く、強い男女へ成長する。……

主を待ち望む者はこのお方の強さにあつて強く、大変な重圧の下でも持ちこたえるのに十分強い。それでいながら、彼は憐れみと慈しみの側、すなわちキリストの側にあつてたやすく取り扱われる。神に屈服している魂はこのお方のみ旨を行う用意ができています。彼は勤勉にへりくだってみ旨を知ろうと求める。彼は訓練を受け入れ、自分自身の有限な判断力に従って歩むことを恐れる。彼は神と交わり、彼の会話は天にある。

無限のお方とつながり、人は神性にあずかる者とされる。彼には罪の矢は何の効果もない。なぜなら、彼はキリストの義という鎧をまとっているからである。」（今日のわたしの生涯 277）

5. わたしたちの仕える神はなんと偉大であろう！

- a. イザヤは神の力について、わたしたちに何を教えていますか（イザヤ 40:26-29）。

「鳥の歌に、木々のささやきに、海の調べに、われわれは日の涼しいころエデンの園でアダムとお語りになった神のみ声をいまもきくことができる。こうしてわれわれは、自然界の中に神の力を見るとき、そこに慰めを見いだすのである。なぜなら、万物をおつくりになったみことばは、魂にいのちを語ることばだからである。『やみの中から光が照りいでよ』と仰せになった神は、キリストの顔に輝く神の栄光の知識を明らかにするために、わたしたちの心を照して下さったのである」（コリント第二 4:6）。」（各時代の希望上巻 361）

「星もまた ひとりびとりの人間にはげましの言葉をささやいている。心が疲れはてたり、試練が重苦しくのしかかったり、障害にうち勝つことができないように思えたり、人生の目的を遂げることができないようにみえたり、人生の美しい希望が、みかけ倒しに思われたりなど、だれでも経験するこのような時に、神は、星に教訓を学べと仰せになっている。何ものにもわずらわされることなく一定のコースをたどる星から、われわれは、勇気と ゆるぎない心とを学ぶことができる。」（教育 123.124）

- b. わたしたちが神の偉大さを考えるとき、それによって何をしよう導かれますか（サムエル記上 12:24；マルコ 5:19；詩篇 31:19）。

「さばくの木は、神がその子らにこの世にあつてかくあれと望まれる人生の象徴である。彼らは罪というさばくにあつて、不安に満たされ、いまにも滅びようとしている疲れはてた魂を、生ける水に導かなければならない。」（同上 125）

個人的な復習問題

1. クリスマスは一青年たちを含め—イザヤ 42:1 を日常生活において、どのように成就することができますか。
2. この世において、キリストの教え方を際立ったものとしたのは何でしたか。
3. わたしたちは教会の外にいる人々を助けることについて、どのようにキリストの模範に従うことができますか。
4. わたしたちが知恵に成長するとき、毎日何をしようになりますか。
5. わたしたちは星からどのような教訓を学ぶことができますか。

小羊を眺める

「彼はわれわれのとがのために傷つけられ、われわれの不義のために砕かれたのだ。彼はみずから懲らしめをうけて、われわれに平安を与え、その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ。」(イザヤ 53:5)

「見よ、ああ、カルバリーの十字架を見上げなさい。あなたのために苦しんでおられる王なる犠牲を見なさい。」(彼を知るために 65)

推奨文献： 教会への証 2 巻 200-215

日曜日

10 月 23 日

1. 教師の舌

- a. わたしたちは、どのようにしてイエスが語られたように、語るができますか (イザヤ 50:4, 5)。

「わたしたちは生れながらに自己中心で、自分の意見を通そうとする。しかし、キリストが教えんとお望みになっている教訓を学ぶとき、キリストの性質をもつ者となり、したがってキリストと同じ生涯を送る。キリストのりっぱな模範、泣く者と共に泣き、喜ぶ者と共に喜び、他人の気持ちに自らなれたところの、比類のない優しさが真心からキリストに従うすべての人の性格に深い感化を及ぼすに違いない。……

わたしたちの周囲には悩む人々があり、至るところにそうした人を発見する。こうした苦しんでいる人をさがし出して、時にかなった言葉で心を慰めよう。つねに人を元気づけるような、あわれみの水が流れている川となろう。

人と交際するとき、その人の経験の中に人間の目には封ぜられた部分があることを知らなければならない。その記憶の中には好奇心にもえた目から嚴重に守られている悲しい歴史があるものである。そこには苦しい境遇に対する長い間のつらい戦いの記録があつて、たぶん、それは家庭生活の中の悩みであろうが、それが勇氣と信頼と信仰を弱めるのである。非常な困難の中に人生の戦いを戦っている人は、ちょっとした愛の行為によって力づけられ、励まされる。こういう人にとっては、真の友人からの力強い助けの手は金や銀よりも尊く、親切な言葉は天使の微笑のよう

2. 熟考すべき光景

- a. キリストがわたしたちのために苦しまれた事柄のいくつかは何でしたか。なぜこのお方はそうされたのですか(イザヤ 50:6; 52:13-15)。

「栄光に満ちた神の御子……は、『彼の顔だちは、そこなわれて人と異なり、その姿は人の子と異な』るほどに、侮辱、嘲り、恥辱的な虐待に耐えられた(イザヤ 52:14)。

だれがここに描写されている愛を理解することができるであろうか。天使の万軍は、天の大君であられたお方、栄光の冠をつけておられたお方が、今やいばらの冠をつけ、サタンの怒りにたきつけられて正気を失い激怒した群衆の怒りの犠牲となって血を流しておられるのを驚きと悲しみをもって眺めた。忍耐強い苦難者を見られよ!このお方の頭にはいばらの冠がある。このお方の命の血潮がすべての裂かれた血管から流れている。これらはみな罪の結果なのである!キリストを天におけるその誉と大権から去らせて罪深い世に来させ、救うために来た者たちによって無視され、蔑まれ、拒まれ、ついには十字架の死を受けられるためにキリストを動かすことができたのは、ただ永遠に奥義であり続ける永遠の贖いの愛のほかにはなかった。」(教会への証 2 巻 207)

「カルバリーの光景をいつも生き生きと記憶している魂のうちには、高慢と自己崇拜の思いは栄えることができないからである。」(各時代の希望下巻 142)

- b. 預言者イザヤによってあらかじめ言われたイエスの外観について述べなさい(イザヤ 53:2)。なぜ多くの人々はイエスの飾り気のない外観に失望したのですか。

「現世的な交際は人々をひきつけ、思慮分別をまどわすので、敬虔の念や神を畏れる気持ちや、信仰あつい心や誠実などは、人をしっかりとさせる力をもたないのである。けんそんでめだたないキリストのご生涯は、全く魅力がないようにみえる。神のむすこや娘になりたいと望んでいる多くの人々に対して、天国の王であられるイエスは『かわいた土から出る根のようであり、彼はわれわれの見べき姿がなく、威厳もない』(イザヤ 53:2) のである。」(アドベンチスト・ホーム 528)

「預言はキリストがかわいた土から出る根のように現れることをあらかじめ述べていた。〔イザヤ 53:2, 3 引用〕。この章を研究すべきである。それはキリストを神の小羊として提示している。誇りに高ぶっている人々、虚無に満ちている魂は自分たちの贖い主のこの光景を眺めて、自らをちりにへりくだらせるべきである。章全体を暗記すべきである。その感化力は、罪によって汚され、自己称揚によって高く上げられている魂を征服しへりくだらせる。」(ユース・インストラクター 1900 年 12 月 20 日)

3. 蔑まれ、拒まれる

- a. イエスの愛に多くの人々はどうのように反応しましたか (イザヤ 53:3)。このお方はわたしたちのために何を負ってくださいましたか (4, 5 節)。

「わたしたちの贖い主がわたしたちの手の届くところに贖いを置いてくださったのは、無限の犠牲と言い表しがたい苦悩を通してであった。彼はこの世において尊ばれず、知られることがなかった。それによって、このお方の驚くべきへりくだりと屈辱を通して、人は永遠の誉れと天の宮廷における不朽の喜びを受けるために高められるのであった。このお方の地上の 30 年の生涯の間、このお方の心は、思いも及ばないほどの苦悩にしめつけられた。まぶねからカルバリーまでの道のりは悲嘆と悲しみが影を落としていた。このお方は悲しみの人で病を知っていた。人間の言葉では描写できないほどの心痛に耐えられた。このお方は真実、次のように言うことがおできになった、『わたしにくださった苦しみのような苦しみが、また世にあるだろうか、尋ねて見よ』(哀歌 1:12)。完全な憎しみをもって罪を憎まれながら、このお方は全世界の罪をご自分の魂に集められた。無実であられたが、このお方は罪人の刑罰に耐えられた。潔白であられたが、このお方はご自身を不法者のための身代わりとして捧げられた。すべての罪の罪深さがその重みをもって世の贖い主の神聖な魂の上にのしかかった。アダムのむすこ娘の一人びとりの悪い思い、悪い言葉、悪い行いは、このお方の身にその懲罰を要求した。なぜなら、このお方が人の身代わりとなられたからである。罪の有罪宣告はこのお方のものではなかったが、このお方の霊は人の不法のために裂かれて傷つけられた。そして罪を知らない方がわたしたちのために罪となられた。それはわたしたちがこのお方のうちに神の義となることができるためであった。」(セクレット・メッセージ 1 巻 322)

「神の御子の地上における 30 年のご生涯の間、このお方の心を裂いた苦悩を少しでもとらえている人はなんと少ないことであろう。」(彼を知るために 66)

「神の御子はわたしたちのために拒まれ、蔑まれた。あなたはこのお方の十字架をまともに見ながら、キリストの苦悩を信仰の目をもって眺め、自分の苦悩や自分の試練の話をすることができであろうか。キリストの青ざめた震えるくちびるから、ご自分をののしり、ご自分を殺す者たちのために、『父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです』との祈りがささげられているときに、あなたは自分の敵への報復を心に抱えていることができであろうか (ルカ 23:34)。……

わたしたちは、神の御子がわたしたちを墮落と罪のくびきから、ご自分の右の座へと引き上げるために服されたへりくだりの深さにしり込みしてはならない。……今こそ、わたしたちが偉大な白い御座の周りに立つ白衣を着た群れの中にあることができるように、残されたわずかな恩恵期間を品性という自分たちの衣を洗い、それらを小羊の血で白くするために捧げるべき時である。」(同上 65)

4. つぶやくことをしない犠牲

- a. 十字架の時に、ご自分の身に積み上げられる虐待に応じられたイエスの方法から、わたしたちは何を学ぶべきですか（イザヤ 53:6-9; ペテロ第一 2:19-24）。

「わたしたちはへりくだった悔悟のうちに、自分にふさわしい場所として十字架の下に身を置くべきである。カルバリー山へ登り、十字架を眺め、苦悩のうちにおられるわたしたちの救い主、死んでゆかれる神の御子、不義な者のための義なるお方を見るときに、柔和と思いの低さの教訓を学ぶことができる。一言でご自分を助けるために大勢の天使を招集することのおできになるお方が、からかいと浮かれ騒ぎの対象、罵（ののし）りと憎しみの対象となっておられるのを見よ。このお方は罪のための犠牲としてご自身を捧げられた。このお方は罵られても脅かすことをせず、偽って告発されてもご自分の口を開かなかった。このお方は十字架上で自分を殺す者たちのために祈られる。このお方は彼らのために死んでゆかれる。このお方は彼らの一人びとりのために無限の代価を支払っておられる。このお方はご自分がこれほど大きな代価をもって買われた人を一人も失うことはない。このお方はつぶやくことなく、打たれ、懲らしめられるためにご自身をお与えになった。そしてこのつぶやくことをしない犠牲は神の御子であられる。このお方の御座はとこしえからであり、このお方の御国に終わりはないのである。」（彼を知るために 65）

「ご自分の人性において、キリストはどの人が悪者に試されるよりもはるかに大きな誘惑をもって、はるかに大きな辛抱強い精力をもって試された。なぜなら、このお方の性質が人の性質よりも偉大であったからである。キリストが最も繊細な同情によって人類と結ばれているというのは、深い神秘的な真理である。すべてのアダムのむすこ娘の悪い行い、悪い思想、悪い言葉はこのお方の神聖な魂にのしかかる。人の罪はこのお方の上に懲罰を求める。なぜなら、このお方が人の身代わりとなられ、世の罪をご自分が負われたからである。」（同上 66）

- b. キリストの受肉における天の目的は何でしたか（イザヤ 53:10）。

「天の大君はご自身を喜ばせることをなさらなかった。このお方がなさったことは何でも、人の救いに関連していた。利己心はどんな形であれこのお方の御前に譴責された。このお方はわたしたちの代わりに苦しむためにわたしたちの性質を身におびられ、ご自分の魂を罪のための捧げものとした。このお方は神に打たれ、人が神の律法の違反のゆえに当然受けるべき打撃から人を救うために苦しまれた。十字架から輝く光によって、キリストはすべての人をご自分に引きつけようとした。このお方の人間の心は人類を切望しておられた。このお方のみ腕は彼らを受け入れようとして開かれていた。そしてこのお方はすべての人をご自分の許へ招かれた。このお方の地上の生涯は、自己否定とへりくだりの行為の連続の生涯であった。」（教会への証 4 巻 418）

5. 思想のための食物

- a. キリストにこのような恥辱的な死に甘んじるよう動機づけさせたものは何でしたか（イザヤ 53:11, 12）。

「崇拝に値する贖い主……は世の人の目に英雄として、すなわち戦闘における人々のように榮譽をたくさん受けて死なれたのではなかった。このお方は有罪宣告を受けた犯罪人として、天地の間に掛けられて一長引く恥辱の死、低俗な犯罪に満ちた放蕩者の群衆のあざけりと罵りにさらされて一死なれたのであった！……

天の大君のこのへりくだりはみな、罪深い有罪宣告を受けた人間のためであった。このお方はそのへりくだりのうちに低く、低く下りてゆかれ、これ以上低い深みへと行くことができないところまで達した。それは人間をその道徳的な汚れから引き上げるためであった。すべてこれはあなたのためであった。」（彼を知るために 68）

- b. この驚くべきへりくだりによって、わたしたちは何を考えるべきですか（ヘブル 2:3, 14, 15）。

「あなたがどれほど罪深くとも、どれほど有罪であっても、あなたは召され、選ばれているのである。『神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいて下さるであろう』（ヤコブ 4:8）。だれ一人として自分の意志に反してイエス・キリストの許へ来るよう強制されることはない。天の大君、真の生ける神のひとり子は、ご自分の命をカルバリーの十字架上の犠牲として捧げることによって、あなたのためにご自分の許へ来るための道を開いてくださった。しかし、このお方はあなたのためにすべてを苦しめたが、悪を見ることができないほど、純潔で正しいお方である。しかし、このことでさえ、あなたをこのお方から遠ざけている必要はない。なぜなら、このお方は『わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招くためである』と言われるからである。」（マルコ 2:17）。」（クリスチャン教育の基礎 251, 252）

個人的な復習問題

1. 他の人々にとってわたしたちがもっと祝福となることができるために、何を学ぶ必要がありますか。
2. もしわたしたちがイザヤ 53 章を暗記したら、どのような効果がわたしたちに及びますか。
3. 十字架上のイエスの苦難を見るときに、わたしたちは何をすることができませんか。
4. なぜイエスは十字架上でご自分の敵のために祈られた時以外、黙っておられたのですか。
5. わたしたちはイエスが自分たちのためにしてくださったことへの感謝をどのように示すことができますか。

第一安息日献金 ミッションフィールドのための文書

21 世紀に、インターネット、e - ブック、また他のメディアが、福音を伝える近代的方法である一方では、なお独自に他の種類のメディアがとってかわることのできない融通のきく提示の方法があります。印刷された文書というのは、地の果て—電気のないところ—にまで福音が届く効果的な方法の一つです。この手段によって、良き知らせは旧共産圏、無神論やイスラム国家にまで入っており、一対一ベースで分かち合うことができます。主のしもべは次の



ように言っています、「聖書の真理を含んだ出版物が秋の木の葉のようにまき散らされるようにしなさい」(天国で 323)。「わたしたちの出版物は至る所へ行くべきである。それらが多くの言語で発行されるようにしなさい。第三天使のメッセージは、この方法や生ける教師を通して伝えられなければならない。この時代のための真理を信じるあなたは目覚めなさい。真理を理解する人々を助けてそれを宣布できるようにするために、可能な限りあらゆる手段を用いることが、今あなたの義務である」(教会への証 9 巻 62)。

「告げ示し(出版し)、ほめたたえて言え、『主はその民イスラエルの残りの者を救われた』と」(エレミヤ 31:7)。神の民、イスラエルの残りの者は、救いの良き知らせを出版すべきです。わたしたちには多くの国々で、福音伝道のための聖書や書籍またパンフレットがありますが、まだ世界中には、同じ特権をもっていない多大な群衆がいます。世界中の様々な地域への文書配布を支援することは、わたしたちの義務であり栄誉です。聖書は多くの言語や方言に翻訳されてきましたが、まだキリストへの道、各時代の大争闘など重要な書物を手に入られない人々は何百万といえます。もし今日現代の真理を探している人々と安息日聖書教科を分かち合うとしたら、どうでしょう。

まだ改革のメッセージが入っていない太平洋の島々やアフリカ諸国を考えてみてください。伝道の書 11:1 には、「あなたのパンを水の上に投げよ、多くの日の後、あなたはそれを得るからである」とあることを覚えていましょう。わたしたちは遅すぎる前に神のみ言葉を広めなければなりません。わたしたちはすぐに結果は見えないかもしれませんが、後の雨が満ちみちてもたらされるときの大収穫を目撃できるのはそれほど遠い先のことではありません。わたしたちは地ではなく、天に宝を蓄える賢明な管理者となりましょう。

すでに貢献してこられた世界中の兄弟、姉妹、友人がたに非常に感謝しています。しかしかつてなかったほど必要は大きくなっています。ですから、この働きに惜しみない献金をしようではありませんか!

世界総会出版支部

自分の隣人たちと分かち合う

「恐れてはならない、またおののいてはならない。わたしはこの事を昔から、あなたがたに聞かせなかったか、また告げなかったか。あなたがたはわが証人である。わたしのほかに神があるか。わたしのほかに岩はない。わたしはそのあることを知らない。」(イザヤ 44:8)

「わたしたちは個人個人が、神の約束はみな真実であることを知り、他の人々に告げることができるべきである。ことばとわざに率直な証を担うことによって、わたしたちはキリストのための真実で忠実な証人とみなされるのである。」(レビュ・アノ・ヘルト 1903 年 7 月 7 日)

推奨文献： 国と指導者上巻 367-378

日曜日

10月30日

1. まだ届いていない人のところに手を差し伸べる
 - a. ご自分の囲いの外にいる羊のための主のご計画を述べなさい(エゼキエル 34:12-14)。この必要について、近代の使命者は、何を述べるように命じられましたか。

「集会へ行く道中、南部を通って旅をしているときに、わたしは次々と働きのなされていない街々を見た。どうしたことであろうか。牧師たちは真理を知っている諸教会の周りにとどまっているが、一方では幾千もの人々がキリストなく滅んでいつているのである。もし適切な指示が与えられるならば、もし適切な手段に従うならば、すべての教会員は体の肢体として自分の働きをなすであろう。彼はクリスチャンの伝道の働きをなすであろう。しかし、教会は死につつあり、彼らは自分たちに説教をしてくれる牧師を欲している。彼らは神が彼らを強め祝福することができるように、忠実に仕え神へ携えていくことを教えられるべきである。彼らは、神の息吹が自分たちの上にもたらされるように、正常な働きへと導かれるべきである。彼らは牧師なく独り立ちができないかぎり、あらたに改心する必要がある、あらたにバプテスマを受ける必要があることを教えられるべきである。彼らは新たに生まれる必要がある。」(エル・G・ワット 1888 年原稿 1750)

「世は警告されなければならない。牧師は、すでに大いなる光と多くの特権にあずかっている諸教会の周りにとどまっているかわりに、熱心に献身的に働き、新しい伝道地を開き、魂のために個人的な働きに携わるべきである。」(教会への証 7 巻 255)

2. 奉仕によって強められる

- a. 地上にいるすべての人に、どの救いの光が与えられなければなりませんか（イザヤ 42:6; マルコ 16:15）。わたしたちは個々の信徒として、どのようにしばしば、特により大きな会衆の中で集まるときに—この義務をなおざりにしてきましたか。

「キリストの任務は文字通り実行されなければならない。神の民はこのお方に自分の資金と自分の能力を捧げなければならない。キリストの十字架の忠実な兵卒たちは、宿営の外に出て、非難に耐え、贖い主の歩まれた自己否定の道に従わなければならない。

牧師たちは諸教会の周りにとどまり、真理を知っている人々に説教をするよりも、まだ闇の中にいる場所へ入っていく方がよい。彼らがこうしない限り、自分自身と自分の会衆が小人になっていく。わたしたちの宗教は、教会員が初めの愛を離れたために弱く病気になるてきた。彼らはもし主の指示に従っていたなら、キリストにある強い男女になったはずである。……

世は罪のうちに滅びつつある。あなたは、この世の歴史がこれほど終わりに近づいている時に、どれくらいの間、広大な困窮しているぶどう畑から離れたままでいるつもりか。」（ビュー・アンド・ヘラルド 1905 年 2 月 9 日）

「わたしたちの大きい諸教会には、もし互いに密集せず、真理の入っていない地域に散っていくならば良い働きができたはずでありながら、比較的何もしないでいる教会員が数多くいる。」（同上 1914 年 11 月 26 日）

- b. すべての牧師と信徒は何を念頭に置いていなければなりませんか（イザヤ 43:11）。

「光と知識を有してきた神の民は神の高く聖なるご目的を実行してこなかった。彼らは勝利から勝利へ、すなわち新しい領域を加え、諸都市や郊外に旗印を掲げてこなかった。主によって自らの上にひらめく大いなる光を有しながら、光からより大きな光へ、そしてさらに大きな光へと前進してこなかった人々によって、大変な霊的盲目が表されてきた。教会員は、前進する働きにおいて霊的な神経と筋肉を用いるよう奨励されてこなかった。……

すべての教会において青年男女が責任を負うために選ばれるべきである。彼らが真理を知らない人々を助けるのにふさわしい者となるよう、あらゆる努力をさせなさい。神は熱心で、魂を尽くす働き人を求めておられる。へりくだった悔いた人は、このお方以外に救い

火曜日

11月1日

3. 渴いた者のための活気づけ

- a. 神のみ旨を実行しようと、心を尽くす人々に、神は何を約束なさいましたか(イザヤ 44:3, 4)。

「わたしたちは神のみ言葉のうちに、今こそ、他の何物にも増して、天からの光を待ち望むことのできる時であることを教えられている。今こそ、わたしたちは主のみ前からの慰め(活気づけ)を期待すべきである。わたしたちはイスラエル軍が『バルサムの木の上に行進の音』(サムエル記下 5:24) 一天が彼らのために働くという定められた信号—を見張っていたように、神のみ摂理の動きを見張っているべきである。

神はご自分の民が人に頼り、肉を自分の腕としている間は、彼らを通してご自分の御名に栄光を帰すことはおできにならない。彼らの今の弱い状態は、キリストだけが高められるようになるまで続く。すなわちバプテスマのヨハネと共に彼らがへりくだった敬神の心から『彼は必ず栄え、わたしは衰える』と言うようになるまで続くのである(ヨハネ 3:30)。神の民に語るべき言葉がわたしに与えられてきた。『彼を掲げよ、カルバリーの人を。人性は退いていなさい。すべての人が自分たちの永遠の命の希望が集中しているお方を眺めることができるように』。……

生ける水の泉が開かれたのは渴いている魂にとってである。……〔イザヤ 43:3 引用〕。真剣に光を求めている魂、このお方の聖なるみ言葉からの神聖な照明の一筋一筋の光線を喜んで受ける魂にとって、そのような人にとってのみ、光は与えられる。神がご自分の栄光をもって全地を照らす光と力を表されるのは、このような魂を通してである。」(教会への証 5 巻 728, 729)

- b. 自分の偶像に信頼する世の愚かさを描写しなさい(イザヤ 44:9, 14-17; 46:5-8)。これらの偶像礼拝者たちは、活気づけなどの知らせを聞く必要がありますか(イザヤ 44:22; 詩篇 103:11-13)。

「神は弱り果てた人類に、生命の息を吹き込もうと熱望されるのである。そして神は、この世の何ものよりもはるかに高尚で高貴なものを、真剣に求めている者が失望に陥ることをお許しにならないのである。最も絶望的な状況のもとにありながらも、自己の力以上の何か大きな力によって救いと平和が与えられるように、信仰をもって祈っている者に神は常に天使を送っておられる。神はさまざまの方法によって自分を彼らに現し、『彼らをして神に望みをおき、神のみわざを忘れず、その戒めを守らせるため』にご自身を贖い代としてすべての者のためにお与えになった方に対する信頼を確立するように、神の摂理の働きに彼らを触れさせられる(詩篇 78:7)。」(国と指導者上巻 346)

4. わたしたちのすまいを張りひろげる

- a. 神はご自分の蔑まれて捨てられた残りの民に何をしてほしいと望んでおられますか (詩篇 5:11; イザヤ 54:1)。

「イザヤ 54 章全体は、神の民にあてはまる。そしてこの預言の一つ一つの詳細が成就するようになる。」(SDA バイブル・コメンタリ [E・G・ホイト・コメン] 4 巻 1148)

- b. 自分たちの心と家庭を他の人々に開く者に与えられている保証を説明しなさい (イザヤ 54:2, 3; ヘブル 13:1, 2)。

「神はご自分の民のためにわたしにメッセージをお与えになった。彼らは目覚めて、自分たちの天幕を広くし、自分たちのすまいの幕を張りひろげなければならぬ。わが兄弟姉妹がた、あなたがたは代価をもって買われたものである。そしてあなたの持っているすべてのもの、あなたの全存在は、神の栄光のためにそして同胞仲間の善のために用いられなければならない。キリストは世界をその罪のうちに滅びることから救うために十字架上で死なれた。このお方はこの働きにおいてあなたの協力を求めておられる。あなたはこのお方の助け手とならなければならない。熱心でたゆまない努力をもって、あなたは失われた者を救おうと努めなければならない。十字架を必要なものとしたのはあなたの罪であることを覚えていなさい。あなたがキリストを自分の救い主として受け入れたとき、あなたは十字架を担うことにおいてこのお方に結合することを自ら誓ったのである。生きても死んでも、あなたはこのお方に結び付けられており、偉大な贖いの計画の一部なのである。

キリストの恵みの改変の力が、自らを神の奉仕に捧げる者を形作る。贖い主の御霊を吹き込まれて、彼は自己を否定し、十字架を取り上げ、主人のためにどんな犠牲でも払う用意ができています。彼は自分の周りで滅びつつある魂に、もはや無関心ではいられない。彼は引き上げられて自己奉仕を超越する。彼はキリストにあって新しく創造されたものであり、彼の生活の中に自己奉仕の余地はない。」(教会への証 7 巻 9, 10)

- c. この種類の伝道の働きには、どのような驚くべき数々の約束が伴っていますか (イザヤ 54:4, 5, 10, 17)。

「神のとしえのみ腕は、たとえどんなに弱くとも、助けを求めてこのお方に向く魂を抱く。もろもろの丘の尊い賜物は滅びるが、批判に動かされず、称賛にゆがめられず神のために生きる魂はこのお方と共に永遠に住む。」(同上 4 巻 328)

5. 将来の明るい展望

- a. 神はわたしたちの周囲にいる人々に対して、わたしたちが何になることを望んでおられますか。またこの働きに取りかかる人々にどの保証が与えられていますか(歴代志下 16:9; イザヤ 11:10-13; 57:13, 14)。

「異邦の地における伝道者たちの一群を、預言者は、真理の光を求める人々を導くために立てられた旗にたとえている。……

救いの日が近づいている。……神はあらゆる国民、部族、国語の中に、光と知識を求めて祈っている男女をごらんになる。彼らの魂は満たされていない。彼らは長い間灰を食べてきた(イザヤ 44:20)。すべての義の敵が誤った道に導いたので、人々は盲人のように手さぐりしている。しかし彼らはまじめな人々であって、よりよい道を知ろうと望んでいる。彼らは異教主義の深みに沈み、成文化した神の律法と、神のみ子イエスについて何の知識もなかったとは言え、その心と品性に神の力が働いていたことをいろいろの方法で示したのである。

神の恵みの働きによって与えられる以外には神のことを何も知らない人々が、神のしもべたちに親切を示し、自分たちの生命を危険にさらしてまで彼らを保護したことがあったのである。聖霊は真理を探究する多くの気高い人々の心にキリストの美德を植えつけ、彼らの性質や以前の教育とは正反対の同情心を起こさせるのである。」(国と指導者上巻 345)

「主はメッセージを送られる、『わが民の道からつまずきの石を取り除け』。この時代のためのメッセージをとどめておく感化に対抗するために熱心な努力が払われなければならない。短い間に、厳粛な働きが行われなければならない。」(SDA パイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 4 巻 1148)

個人的な復習問題

1. もし真に改心していたら、わたしたちは自分の教会の中で何をしようと望むはずですか。
2. 大きな会衆の不利な点を説明しなさい。
3. だれにだけ、光は与えられますか。また彼らはこの光をどのように扱いますか。
4. わたしはどのようにして、主のために自分の「天幕」を「広く」することができますか。
5. 光を求めて盲目的に手探りしている人々を助けるために、わたしたちはどの段階を踏むべきですか。

残りの民の苦闘

「義を知る者よ、心のうちにわが律法をたもつ者よ、わたしに聞け。人のそしりを恐れてはならない、彼らのののしりに驚いてはならない。」（イザヤ 51:7）

「神の律法は完全に擁護される。神の処置はことごとく、ご自分の民の永遠の幸福と、神が造られたすべての世界の幸福のためにとられたものであることが理解される。」（人類のあけぼの上巻 399）

推奨文献：祝福の山 146 ～ 150

レクテッド・メッセージ 1 巻 121-143

日曜日

11月6日

1. 義人のための試練の時

- a. イザヤの時代、マナセ王の統治下で、ユダにどのような変化が起きましたか（列王記下 21:16; 歴代志下 33:9-11）。

「ユダ王国は、長年にわたるマナセの悪政の間に、まともや衰微した。その時に異教主義が復活し、多くの人々が偶像礼拝に陥った。……先代の輝かしい光の次に、迷信と誤りの暗黒が続いた。はなはだしい罪悪が発生してはびこった。暴政、圧迫、あらゆる善に対する憎しみが起こった。正義はまげられ、暴力は勝ち誇った。

しかし、そうした邪悪な時代にあっても、神と正義のための証人がいなかったわけではなかった。ヒゼキヤの治世にユダが無事に通過してきた苦い経験は、多くの人々の心に強固な精神を啓発させたので、それが今、広く行きわたった罪悪に対する防壁となったのである。真理と義に対する彼らのあかしは、マナセと権力を握った彼の取り巻きたちの怒りを買った。彼らは反対の声をすべて沈黙させることによって、悪行をなおも続行しようと努めた。『マナセは……罪なき者の血を多く流して、エルサレムのこの果から、かの果にまで満たした』（列王紀下 21:16）。

最初に倒れた者のひとは、半世紀以上にわたって、主の任務を受けた使者と

2. 救うのに力強い主

- a. マナセの悔い改めから、わたしたちはみな、何を学ぶべきですか (歴代志下 33:12, 13; ペテロ第二 3:9)。

「マナセの例から、主はわたしたちにご自分が働かれる方法の事例をお与えになった。〔歴代志下 33:9-13 引用〕。

主はしばしばご自分の民に警告と譴責のうちに語ってこられた。このお方はご自身を憐れみ、愛、そして親切のうちにご自身を表してこられた。このお方はご自分の背信の民を敵の意のままに放ってはおかれず、彼らに対して頑固な背信の間でさえ、長くしのんでこられた。しかし、訴えがむだに終わると、このお方は刑罰のつえを用意される。なんという憐れみ深い愛が神の民に対して働かされてきたことであろう! 主はご自分と相反する目的のために働く人々をその罪のうちに切り倒すこともおできになったが、そのようにはしてこられなかった。このお方のみ腕はなおも伸ばされている。わたしたちには、神がご自分の道を歩むことを拒んできた人々からご自分の御霊を取り去らなかつたことで神に感謝を捧げる理由がある。」(SDA ハイナル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 3 巻 1132)

- b. 神は背信のイスラエルを罰するためにバビロンをお用いになった後で、バビロンを滅ぼすためにメドペルシャをお用いになりました。このお方はどのようにご自分の国家の刑罰の期間の後、彼らを解放することを約束なさいましたか (イザヤ 44:24, 28; 45:1-6, 13)。

「靈感はクロスが生まれる一世紀以上も前に彼の名を挙げて、彼が不意にバビロンを占領して捕囚の民を解放する道を開き、実際にどんなことをするかを記録させたのである。イザヤは次のように語った〔イザヤ 45:1-3 参照〕。」(国と指導者下巻 159)

- c. どのようにこの預言は成就しましたか (エズラ 1:1-4; 6:3-5)。この事実は、わたしたちにどの原則を思い出させるべきですか (民数記 11:23)。

「主は資源を持っておられる。このお方の御手は機械の上に置かれている。ご自分の宮が再建されるべき時が来たとき、このお方はクロスをご自分の代理人として動かし、ご自身に関する預言を認めさせ、ユダヤ人に自由を与えたのであった。」

3. 長続きする本物の改革

- a. わたしたちの時代に起こると預言されているどの霊的な回復が、ネヘミヤの時代の回復によって象徴されていましたか (イザヤ 61:4; 58:12, 13)。

「ネヘミヤの時代に推進された働きが象徴していた、霊的回復が、次のイザヤの言葉の中に示されている。〔イザヤ 61:4; 58:12 引用〕

広く一般が真理と正義から離反しているときに、神の国の基礎である原則を回復しようとする人々のことを、預言者はここで描写しているのである。彼らは神の律法の破れを回復する人々である。すなわち神の律法は、神が選民を保護するために、彼らの周りに置かれた城壁であって、その正義、真理、純潔である戒めに従うことが、彼らを永久に保護するのである。

預言者は間違えようのない明白な言葉で、城壁を建設するこの残りの民の、特別な働きを指示している。『「もし安息日にあなたの足をとどめ、わが聖日にあなたの楽しみをなさず、安息日を喜びの日と呼び、主の聖日を尊ぶべき日となえ、これを尊んで、おのが道を行わず、おのが楽しみを求めず、むなしい言葉を語らないならば、その時あなたは主によって喜びを得、わたしは、あなたに地の高い所を乗り通らせ、あなたの先祖ヤコブの嗣業をもって、あなたを養う」。これは主の口から語られたものである』(同 58:13, 14)。

終末時代に、神のすべての制度が回復される。人間が安息日を変更したときにできた、律法の破れが回復される。」「(国と指導者下巻 277)

- b. 改革の働きにおいて、なぜ良い基礎を持つことがそれほど重要なのですか (詩篇 11:3)。これは今日、主の再臨のための準備において、どのようにわたしたちの働きにあてはまりますか (マタイ 3:9, 10; 17:11)。

「神の残りの民は改革者として世の前に立ち、神の律法がすべての永続的改革の基礎であって、第四条の安息日は創造の記念であり、常に神の力を思い起こさせるものであることを、示さなければならない彼らは明白な言葉で、十誡のすべての戒めに服従する必要を示さなければならない。彼らはキリストの愛に動かされて、キリストと共に力を合わせて、荒れすたれた所を復興しなければならない。彼らは、破れを繕う者、市街を繕って住むべき所となす者、とならなければならないのである (イザヤ 58:12 参照)。」「(同上 278)

4. 前に押し進む

- a. 他の人々のための働きにおいて、わたしたちはどのように謙遜であるべきですか（ルカ 17:10; ガラテヤ 6:1; イザヤ 51:1）。

「わたしたちは自分たちが掘り出された穴を覚えて、人々を忍耐強く徐々に導かなければならない。」（教会への証 3 巻 21）

- b. アブラハムの霊的な子らへのどの約束が、今日わたしたちのためですか（イザヤ 51:2, 3; ガラテヤ 3:28, 29）。

「神の民には自分たちの前に力強い働き、すなわち絶えずもつと高く突出していかなければならない働きがある。伝道分野におけるわたしたちの努力ははるかにもつと広範囲に及んでいかなければならない。……

ぶどう畑は全世界を含んでおり、そのすべての部分のために働かなければならない。今は道徳的な荒野である場所があるが、これらは主の園のようにならなければならない。地の荒れすたれたところが耕され、それらはバラのように芽を出し、花咲かなければならない。新しい領地は、聖霊によって鼓舞された人々によって働かれなければならない。新しい教会が設立され、新しい集会在組織されなければならない。この時に、地のすべての都市やすべての遠隔地において現代の真理の代表者がいるべきである。全地が神の真理の栄光によって照らされるべきである。光はすべての地、すべての人に向かって輝かなければならない。そしてそれが輝きでるのは、光を受け入れた人々からなのである。明星はわたしたちの上にのぼった。そしてわたしたちは闇の中にいる人々の道の上を照らす光を輝かせなければならぬ。

危機はわたしたちの上に迫っている。わたしたちは今、聖霊の力によって、この終わりの時代のための偉大な真理を宣布しなければならない。すべての人が警告を聞き、自分の決定を下すようになるのは、それほど先のことではない。そのとき、終わりが来る。

正しいことを正しい時に行うというのは、すべての正しい信仰の本質そのものである。神は偉大な働き人の主人であられ、そのみ摂理によってこのお方はご自分の働きが成し遂げられるための道を備えて下さる。このお方は機会を備え、感化の分野と働きの水路を開いてくださる。もし神の民がこのお方のみ摂理の示唆するところを見張り、このお方と協力する用意をしているならば、大いなる働きが成し遂げられるのを見るであろう。……わたしたちの働きは改革的であり、働きの卓越性があるあらゆる分野において民にとっての実物教訓となるのが神のご目的である。」（同上 6

5. 道を外れさせられない

- a. 神の民が自分自身の意図を促進するために神のみ言葉を拒むとき、何が起こりますか（イザヤ 50:11; ヨハネ 12:48; テサロニケ第二 2:11）。

「主はわたしの前に、敵によっていくらか盲目にされてきた人々、そしてサタンのわなから十分には回復していない人々は危険のうちにいることを示された。なぜなら、彼らは天からの光を識別することができず、偽りを受け入れる傾向にあるからである。これは彼らの思想、彼らの決断、彼らの意見、彼らの勧告の傾向全体に影響を及ぼす。神がお与えになる証拠が彼らにとっては証拠ではない。なぜなら、彼らは光よりも闇を選ぶことによって、自らの目を見えなくしてしまったからである。そして、彼らは自分たちが光と呼ぶ何かを作り出すが、主はそれを彼ら自身の灯火のほのおと呼ばれる。それによって彼らは自分の歩みを決めるのである。……

多くの人々によって、主が送られた言葉が拒まれるであろう。そして人が語るであろう言葉が光と真理として受け入れられるようになる。人間の知恵は、自己否定から、献身から導き出し、神のメッセージを効果のないものにする傾向のある多くの事柄を考案するであろう。わたしたちは神と密接なつながりのうちにない人々に頼っては少しも安全ではない。」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 4 巻 1146)

- b. わたしたちはこの働きにおいてどの要点を心に留めていなければなりませんか（コリント第一 14:8）。

「教会は立ち上がって、神のみ前に自分の背信を悔い改めなさい。見張り人は目覚めて、確かなラッパの音を出しなさい。」(ヘレケッド・メッセージ 1 巻 126)

個人的な復習問題

1. マナセ王はどれほど悪の深みに落ち込みましたか。
2. わたしたちの贖い主の甚大な寛容を明らかにした数々の例を挙げなさい。
3. 多くの人々が改革者だと公言していますが、真の改革のための神の基礎は何ですか。
4. わたしたちが今日、活発に追い求めるべき最も重要な任務は何ですか。
5. 人々を真理から迷い出させる問題の種類を挙げなさい。

天と協力する

「あなたの神、主なるわたしはあなたの右の手をとってあなたに言う、『恐れてはならない、わたしはあなたを助ける。』」（イザヤ 41:13）

「内住される救い主はご自分の力をわたしたちの財産とされる。真理はわたしたちの取引の資源となる。不義は生活の中に見られない。わたしたちは真理を知らない人々に折にかなった言葉を語ることができるようになる。心のうちにおられるキリストのご臨在は命を与える力となり、存在全体を強める。」（教会への証 7 巻 71）

推奨文献： 教育 200 ～ 205

日曜日

11月13日

1. 慰めと癒しの言葉

- a. 神のために生き、このお方のみ事業の促進を願うわたしたちの願望において、今日、道を迷ったユダへのどの慰めのメッセージがわたしたちにまでこだましていますか（イザヤ 41:10-14）。

「主はご自分のみ名を地において賛美とすると自ら誓われた。このお方は天と協力して働くすべての人になんという力を約束してくださったことであろう！宇宙の三人の最高の権威者たちが失われた者を救おうとする人々と共に働くことと誓われたのである。神は世におけるご自分の働きを成し遂げるためにご自分の約束された助けを、ご自分の民がわがものと主張することを望んでおられる。」（ビュー・アンド・ワールド 1909 年 8 月 12 日）

「希望と勇気を持とう。神の奉仕における落胆は罪深く、不合理である。このお方はわたしたちのすべての必要をご存じである。このお方はすべての力を持つておられる。このお方はご自分のしもべたちに彼らの必要が要求するだけの力を授けることができる。このお方の無限の愛と同情は決して弱ることがない。全能者の大能にこのお方は羊飼いの親切と優しい保護を結合させておられる。わたしたちはこのお方がご自分の約束を果たされないのではないかと恐れる必要がない。このお方は永遠の真理であられる。このお方は決してご自分を愛する人々と結ばれた契約を変えることはない。ご自分の教会への約束は永遠に堅く立つ。このお方は教会を永遠の美德とし、世々にわたる喜びとされる。

イザヤ 41 章を研究し、ことごとくその重要性のうちにそれを理解しようと奮闘しなさい。」（教会への証 8 巻 38, 39）

2. わたしたちの使命における励まし

- a. 試練の中であってさえ、自分たちの使命を実行することにおいて、わたしたちにはどの神の愛と保護の保証がありますか（イザヤ 43:1-6）。

「炉の火は滅ぼすためではなく、精錬し、高尚にし、聖化するためである。試練なしには、わたしたちは神とその助けの必要をあまり感じない。そしてわたしたちは誇り、自己満足するようになる。あなたにおとずれる試練の中に、わたしは主の目があなたの上にあり、このお方があなたを御許へ引き寄せようとしておられる証拠を認める。医者が必要としているのは健全なものではなく、傷ついた者である。そして助けを必要としているのは、ほとんど耐え難いところまで押しつぶされている人々である。避難所へ戻りなさい。次の尊い教訓を学びなさい。『すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである』（マタイ 11:28-30）。」（同上 123, 124）

- b. 偶像礼拝者たちの間においてさえ、協力と励ましのどの教訓を、今日、神のためのわたしたちの働きにあてはめることができますか（イザヤ 41:6, 7）。

「聖書に教えられている協力について教訓を学ぶことは、子供たちにとっても親にとってもまた教師にとっても有益である。その多くの事例の中で注目に値するのは幕屋の建設で、これはまた品性を築く上にも実物教訓となっている。そのときすべての民すなわち『すべて心に感じた者、すべて心から喜んでする者』（出エジプト 35:21）はみな力をあわせたのであった。エルサレムの石垣が帰還した捕虜たちによって貧窮と困難と危険の最中に再建され、あの大事業が『民が心をこめて働いた』（ネヘミヤ 4:6）ので、みごとに完成したことを読んでいただきたい。救い主が奇跡をもって群集に食をお与えになったとき弟子たちの果たした役割を考えていただきたい。食物はキリストのみ手の中であってふえ、弟子たちがそのパンをもらって、待っている群集に与えたのであった。

『わたしたちは、お互に肢体なのであるから』（エペソ 4:25）各自は『神のさまざまな恵みの良き管理人として、それをお互のために役立て』（ペテロ第一 4:10）なければならぬ。

昔の偶像作りの人々について書かれたつぎの言葉を、今日、品性を築く上にもっと価値のある目的をもった標語として用いよう。〔イザヤ 41:6 引用〕」（教育 336,

3. わたしたちの造り主と調和して

- a. 詩篇記者とイザヤは両方とも自分たちの創造主の他にない唯一性を、どのように宣言していますか(詩篇 72:18; イザヤ 44:6-8; 45:11, 12)。これはわたしたちに何を考えさせるべきですか。

「わたしたちはもっと自分たちの贖い主に信頼を置こうではないか。レバノンの水から向きを変えて、水をためておくことのできない壊れた水ためから元気を回復しようとしてはならない。神を信じる信仰を持ちなさい。イエスに信頼してより頼むことは勝利を可能にするだけでなく、確かなものとする。多大な群衆が誤った道へ押し進んでいても、外観はつねに失望するようなものであっても、なおわたしたちの指導者なるお方のうちに、わたしたちは十分な確証を持つことができる。なぜなら、このお方は『わたしは神であって、ほかに神はない』と宣言なさるからである(イザヤ 45:22)。このお方は力において無限であり、ご自分の許へ来るすべての人を救うことがおできになる。わたしたちが安全に信頼できる者は他にない。」(レビュー・アノド・ヘラルド 1910 年 6 月 9 日)

- b. わたしたちは自分たちのためのこのお方のご目的において、自分の創造主と協力する代わりに、しばしば何をしますか(イザヤ 45:9, 10)。異教の王であるクロスは、神のご目的に比べて、どのようにしましたか(13 節)。

「わたしたちは全般的に信じているが、自分たちの造り主であられる神に完全に余すことなく信頼することがないために多くを失っている。わたしたちが望ましくない状況にもかかわらず、確信をもってこのお方の愛に安んじ、このお方とだけ自ら閉じこもり、このお方の愛に平和に安んじることができるならば、このお方のご臨在の自覚が深く落ち着いた喜びを吹き込む。この経験はわたしたちのために、心配したり悩んだりせず、かえって無限の力なるお方により頼むようにさせる信仰を得させる。」(原稿別巻 9 巻 289)

「王が自分の生まれる百年以上も前に預言された、バビロン占領の模様についての言葉を見たときに、また「あなたがわたしを知らなくても、わたしはあなたを強くする。これは日の出る方から、また西の方から、人々がわたしのほかに神のいないことを知るようになるためである」と、宇宙の王が彼に言われた言葉を読んだときに、また、『わがしもべヤコブのために、わたしの選んだイスラエルのために、わたしはあなたの名を呼んだ。あなたがわたしを知らなくても、わたしはあなたに名を与えた』という永遠の神の宣言を、彼が目の前に見たときに、また『わたしは義をもってクロスを起した。わたしは彼のすべての道をまっすぐにしよう。彼はわが町を建て、わが捕囚を価のためでなく、また報いのためでもなく解き放つ』という靈感の記録をたどったときに、彼は深く感動した。そして自分に命じられた任務を遂行しようと決心したのである。彼はユダヤの捕囚たちに、自由を与えようとした。そして主の神

4. 神のみ言葉の確かさ

- a. 神のみ言葉の確かさを疑うように誘惑されるとき、わたしたちは神について何を思い出すべきですか(イザヤ 46:8-10)。

「有限な人間の知能が、無限のお方のご品性と働きを完全に理解することは不可能である。……

わたしたちは限りない愛や無限の力と結びついた憐れみを識別できるために、ある程度、このお方がわたしたちを取り扱われる方法、このお方を動かす動機を理解することができる。わたしたちは知ることが益となる分だけこのお方のご目的を理解することができる。しかし、それを超えても、なお全能者の力、御父であり、すべての者の統治者の愛と知恵に信頼しなければならない。……しかし、神はわたしたちに聖書の神聖な性質の証拠を十分に与えてこられた。そしてわたしたちは自分がこのお方のみ摂理のすべての神秘を理解できないからといってこのお方のみ言葉を疑ってはならない。……神がわたしたちに知らせるのが良いと思われたものはすべて、このお方のみ言葉の権威に基づいて受け入れるべきである。ただ事実のありのままの供述だけが与えられ、なぜ、あるいはどのようにといった説明はないかもしれないが、それを理解できなくても、神がそれを言われたがゆえに、それは真実であると満足して安んじているべきである。あらゆる困難は人間の知能の弱さと狭さにある。」(教会への証 5 巻 698-700)

「人類歴史の記録の中では、世界の諸国民の発展や諸帝国の興亡は、人間の意志や勇氣に左右されているかのようにみえる。いろいろな事件の形成は、その大部分が人間の能力や野心やあるいは気まぐれによってきまるかのようにみえる。しかし、神のみ言葉である聖書の中には幕が開かれていて、われわれはそこに、人間の利害や権力や欲望の一切の勝ち負けの上に、また背後に、あるいはそれを通して、あわれみに満ちた神の摂理が、黙々と忍耐よくご自身のみ旨を達成するために働いているのを見るのである。」(教育 206)

- b. バビロンからユダを救出するためにクロスをお用いになるこのお方のご目的において、どの霊的な救出が神によって保証されましたか。まただれによってこれがもたらされますか(イザヤ 46:11-13)。

「メシヤは彼の地上の伝道生涯の言葉と行為において、父なる神の栄光を、人類にあらわさなければならなかった。彼の生涯のすべての行為、語るすべての言葉、行うすべての奇跡において、彼は墮落した人類に神の無限の愛を示さなければならなかった。」(国と指導者下巻 297)

5. 神の助けの御手

- a. 魂を救うという祝福された働きにおいて神と協力するために、わたしたちはみななどの重要不可欠な経験を持たなければなりませんか（詩篇 51:10-13; コリント第二 4:1-7）。それはなぜですか。

「真の弟子はみな伝道者として神の国に生れているのである。生ける水を飲む者はいのちの泉となる。受ける者が与える者となる。魂のうちにあるキリストの恵みは、砂漠の中の泉のようなもので、それはわきあがってすべての人を元気づけ、いまにも死にそうになっている人々にいのちの水を飲みたいと熱望させるのである。」（各時代の希望上巻 234）

「神の子となる者はそのときから世を救うためにおろされた鎖の一環と自分を考え、イエスのあわれみ深いご計画においてキリストと一つになり、失われた者をたずねて救うために、キリストと共に出行かなければならない。」（ミストリー・オブ・ヒーリング 76）

「あなたは他のすべての利益よりも魂を救う働きを優先したいと願うほど、カルバリーで捧げられた犠牲を深く感謝しているであろうか。救い主の生涯を特徴づけた罪人を救いたいという願いの同じ激しさがこのお方に真に従う者の生涯を特徴づける。クリスチャンには自己のために生きたいという願いはない。彼は自分の持っているものや自分の存在をみな主人の奉仕に喜んで捧げる。彼は魂をキリストに勝ち取りたいという言い表しがたい願いによって動かされる。この願いを少しも持っていない人々は、自分自身の救いを案じる方がよい。彼らに奉仕の精神を求めて祈らせなさい。」（教会への証 7 巻 10）

「わたしたちの働きはわたしたちのために天父によってはっきりと述べられてきた。わたしたちは聖書をとって、世に警告するために出ていかなければならない。わたしたちは魂の救いにおいて、神の助けの手—このお方の愛が日々滅びる者へあふれる水路—とならなければなりません。」（同上 9 巻 150）

個人的な復習問題

1. わたしたちの相互の協力によって神のみ事業を益することのできるいくつかの方法を挙げなさい。
2. 火のような試練や困難に直面したときに、何を思い出すべきですか。
3. わたしたちが神の愛に安んじ、自分自身をこのお方に完全にゆだねるとき、わたしたちは何を得ますか。
4. 神を信じるための基礎を敷くために、なぜ預言はこれほど有益なのですか
5. なぜ伝道の熱心さは、本物の改心の正確な測定基準なのですか。

証人となるために召された

「よきおとずれを伝え、平和を告げ、よきおとずれを伝え、救を告げ、シオンにむかって『あなたの神は王となられた』と言う者の足は山の上にあつて、なんと麗しいことだろう。」(イザヤ 52:7)

「わたしたちの受けた恵みを他の人々に分け与えることによって、わたしたちは神の豊かな祝福にあずかる者とされる。」(ビュー・アンド・ヘラルド 1909 年 2 月 25 日)

推奨文献： 教会への証 7 巻 9-24

日曜日

11 月 20 日

1. 真理を愛するわたしたちの愛を復活させる

- a. 自分たちの時間を利己的な追及やつまらない事柄に費やすように誘惑されたとき、わたしたちは何を考えるべきですか(イザヤ 55:6, 7; ヘブル 3:12, 13)。

「わが兄弟姉妹がた、主を見出すことができるうちに求めなさい。自分たちの時間と機会を無駄にしてきた人々がこのお方を求めたらよかったのにと願うようになる時が来る。」(教会への証 9 巻 106, 107)

- b. なぜ、今神のみ言葉を研究することが重要なのですか(アモス 8:11, 12)。個人的な聖書研究は、どのような影響をわたしたちに及ぼしますか(ヨハネ 8:31, 32; ヨハネ 17:17)。

「聖書を研究し、神に勧告を求め、キリストにより頼む人々は、いかなる時もあらゆる状況下で賢明に行動することができるようになる。良い諸原則が実生活で例証される。ただ、今の時代のための真理が心から受け入れられ、品性の基礎となるようにしなさい。そうすれば娯楽の誘惑、目的の不動、習慣の気まぐれ、世を愛する者たちの侮蔑、そして自己放縦を求める自分自身の心の要求が影響力をなくするような目的の堅固さが生まれる。まず良心が啓発され、意志が服従しなければならない。真理と義の愛が、魂を治めなければならない。そうすれば、天が承認することのできる品性が現れるようになる。」(同上 5 巻 43)

2. キリストと他の人々への愛が復活しなければならない

a. わたしたちに迫る神の愛は、何をするよう導きますか (コリント第二 5:14, 15)。

「神の愛が心のうちにあれば、それは確かに他の人々への優しい愛のうちに表れるようになる。主はわたしたちの憐れみの行為によって、恵まれていない悩む人々のために思いやりぶかい配慮を働かせることによって、誉れをお受けになる。やもめとみなし子はわたしたちの愛以上のものを必要としている。彼らは同情、見守り、憐れみ深い言葉、そして彼らが自らを助けることのできる場所へおいてくれる助け手を必要としている。助けを必要としている人々のためになされたすべての行為はキリストになされるのである。恵まれていない人々をいかに助けるか研究する際に、わたしたちはキリストが働かれた方法を研究すべきである。このお方は過ちを犯した人々のために働くことを拒まれなかった。このお方の憐れみの働きは、すべての階級の人々のために、義人や不義な者のために実行された。すべての人のために等しくこのお方は、病をいやし、良い指導の教訓をお与えになった。」(サイン・オブ・タムズ 1909 年 7 月 14 日)

b. この動機が欠けているときに、わたしたちはどの悔い改めへの招きを受け入れなければなりません。またそれはなぜですか (黙示録 2:4, 5)。

「わが兄弟姉妹がた、あなたがたはキリストのために何をしているであろうか。あなたは他の人々にとって祝福となれるように努めているであろうか。あなたの唇は親切、同情、そして愛の言葉を述べているであろうか。あなたは他の人々を救い主に勝ち取るために熱心な努力を払っているであろうか。

今働きに従事している者が一人しかいないところに、百人いないということは神秘である。全宇宙は神の息子むすめと公言している人々の無関心、冷たさ、倦怠感に驚愕している。何年もの間わたしたちの前に働きは置かれていたが、多くの人々は眠っていた。」(ビュー・アンド・ヘルド 1913 年 8 月 7 日)

c. 伝道の分野において「はじめのわざ」を行うことが、どのように教会におけるわたしたちの霊性を向上させることができますか。

「真の伝道の努力から離れること、伝道の精神を大切にしないことは一つ一つ、教会に反作用を及ぼし、霊性の下降が存在してきた。しかし、伝道分野においてなされる熱心な努力はみな教会に霊的な健康をもたらし、教会員の数を増やすばかりでなく、聖なる熱心と喜びをも増してきたのである。」(牧師への証 205, 206)

3. 報いのある結果

- a. メッセージを聞く人々がメッセージを伝えてくれた人々に対する感謝の気持ちを、どのような励ましの言葉が描写していますか（イザヤ 52:7）。

「〔神は〕あなたがたが教会の外にいる人々のために集会を設けることを望んでおられる。それによって、人々がこの最後の警告のメッセージの真理を学ぶことができるためである。あなたがたが喜んで受け入れられる場所、魂が自分たちを助けに来てくれたことを感謝する場所がある。主があなた方を助けて下さり、この働きにかつてなかったほど取り組むことができるように。

光を持ったことのない人々のための働きを始めよう。……わたしたちに必要なのは、生きた信仰、すなわちヨセフの開かれた墓に対して、わたしたちには生ける救い主がおられること、すなわちわたしたちの前に行かれ、わたしたちと共に働かれるお方がおられることを宣布する信仰である。わたしたちが神に器を提供すれば、神は働きをなして下さる。わたしたちのうちで、もっと祈りを増し、もっと不信仰を減じる必要がある。わたしたちは旗印を高く、もっと高く民の前に掲げる必要がある。わたしたちは、捕らわれた者に自由を宣布し、飢えた魂に命のパンを分け与えるときに、キリストがいつもわたしたちの右手におられることを覚えている必要がある。わたしたちが自分の働きの緊急性と重要性を念頭に置き続けるとき、神の救いは顕著な方法で表されるようになる。

神はわたしたちが武具を身に着け、わたしたちが真剣であるように、すなわち男女の魂に救いの価値があるように行動するのを助けて下さる。新しい改心を求めようではないか。」（教会への証 9 巻 107）

- b. この大いなる努力において、わたしたちが手を携えるときに、何が起こりますか（イザヤ 52:8, 15）。

「主はご自分の民が伝道の働きの様々な分野に取りかかるよう要求しておられる。大路や垣根にいる人々は救いの福音のメッセージを聞かなければならない。教会員は、真理の十分な証拠を受けてこなかった自分たちの友人や隣人たちの家庭で、伝道の働きをしなければならない。」（キリストを映して 202）

「もしわたしたちがイエスのうちにあるがままの真理を教えるなら、真の教育者であられるお方の精神のうちに教えるようになる。そしてわたしたちは様々な意見をもって、頑固に自分自身の考えに固執することなく、意見が一致ようになる。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 7 巻 914）

4. 起きるようにとの召しに注意を払う

- a. 使徒パウロは、どのようにイザヤの奉仕への召しをこだまさせていますか（ローマ 10:13-15）。

「〔キリストの〕生涯は無私の奉仕の生涯であった。そしてそれはわたしたちの教科書となるべきである。

人間には、魂を救う働きにおいて自分たちの払うべき努力に制限があると考え、権利はない。キリストはご自分の働きにおいて弱られたことがあったのだろうか。このお方は犠牲や困難に尻込みされたことがあったのだろうか。教会員はこのお方が払われた継続的な辛抱強い努力を払わなければならない。」（ビュー・アソド・ヘラルド 1913 年 8 月 7 日）

- b. わたしたちは目覚めるために政府の法令や世界総会の決議を待つ必要があるでしょうか。もしないとすれば、なぜないのですか（ローマ 13:11-14; テサロニケ 第一 5:4-8）。

「全地は神の真理の栄光で明るくされなければならない。主は警告のメッセージがもっとはっきりと宣布されるまで恩恵期間を閉じられることはない。ラッパは確かな音を出さなければならない。神の律法は拡大され、その要求はその真実な聖なる性質のうちに提示されなければならない。それによって民が真理の側に立つか、真理に反対して立つかを決定するよう導かれるためである。……

あなたは長い間、人の子が天の雲に乗って力と大いなる栄光のうちに来臨される直前に起こるべき驚くような衝撃的な出来事を期待してきた。今、わたしはあなたにお尋ねする。あなたはラッパが確かな音を出すための準備ができていであろうか。あなたは自分が神とつながっているものであり、このお方のみ顔の光のうちに生きていることを知っているであろうか。だれが日々自分は人間の贖いのための主のご計画を実行することによって、キリストを尊ぶために共に働く者だということを感じているであろうか。あなた自身の魂を神の愛のうちに保つ最善の方法は、他の人々の救いのために勤勉に働き人になることである。……

全天は、もしわたしがこの表現を用いてもよいとすれば、しびれを切らすような思いで人が魂の救いのために神聖な代理人たちと協力するのを待っている。〔イザヤ 52:7 引用〕。光が来て主の栄光が自分たちの上にのぼったがゆえに起きて輝くのは、だれであろうか。だれが聖なる契約のうちに自らを主に結び付け、天の光と恵みをわたしたちの世に伝達するための通路となっているであろうか。」（世界総会日報 1893 年 1 月 28 日）

5. 良い告白をする

- a. 恩恵期間がまだ伸びている間に、わたしたちはどのような告白をする必要がありますか（イザヤ 45:23; ローマ 14:11; 10:9, 10）。

「時間を無駄にしてはならない。直ちにキリストを告白しなさい。キリストを証するのは聖霊、慰め主、真理の御霊である。イエスは『聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう』と言われた（使徒行伝 1:8）。あなたをキリストの証人とする聖霊を悲しませるとは恐ろしいことである。あなたは、自分がいつ最後に聖霊を悲しませることになるかを知らない。聖霊はあなたが自分をキリストに捧げないではいられないように、すなわちあなたの良心を明け渡すように強制するために人の心に働きかけることはない。しかし、〔御霊は〕罪を自覚させ、またあなたが義へ注意を向けるような方法で心の部屋の中を照らしてください。もしあなたが、今、キリストを告白しないならば、自分がどれほど大きなものを失ったかという自覚に圧倒されて、告白する時が来る。しかし、あなたは憐れみの声があなたを招いている間にキリストを告白しないであろうか？」（ユース・インストラクター 1895 年 8 月 1 日）

- b. わたしたちが自分の力と義の源としてキリストを告白するとき、わたしたちの伝道努力にどのような効果を及ぼしますか（イザヤ 45:24, 25）。

「特別な方法によって、真理はすべての人の心の必要に適應される。神の子らが自分たちの必要を満たしてくださいる主の能力を理解するとき、罪のうちに滅びつつある魂の必要に応じるために彼らに接触するようになる。神はご自分を信じる信仰を働かせ、ご自分のみ言葉を行う者になるすべての人を受け入れてくださる。」（ビュー・アンド・ワールド 1909 年 8 月 12 日）

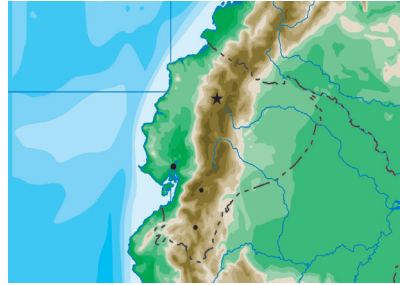
個人的な復習問題

1. 何が真理であるかを知るとは、なぜわたしたちにとって重要なのですか。
2. もしわたしたちが伝道の働きをしないと、自分たちの霊性はどうなりますか。
3. キリストを伝えようとするとき、だれに自分たちの焦点を当て始めるべきですか。
4. キリストは日常生活においてどのような模範を与えてくださいましたか。そしてわたしたちはどのようにして、それに従うことができますか。
5. わたしが個人的にキリストを告白することは、どのようにもっと効果的な証となることができますか。

第一安息日献金

中央アメリカユニオン教育支部のために

わたしたちは地上における最高の働きが神のみかたちに従って品性を形作ることだと信じています。品性の形成は一生の働きであり、その発達は無遠く続きます。神のみかたちに従って形成された品性は、この世から来たるべき世に持っていくことのできる唯一の宝です。これこそすべての真のクリスチャンの目標となるべきです。品性の発達を助けることにおいて、教会の働きは「教育、教育、教育」することです。



中央アメリカユニオンではわたしたちの子供や青年たちの教育を最も重要な目標の一つとして取り上げてきました。悲しいことに、現在自分自身の教会学校に出席する機会のないわたしたちの子供や青年たちは世の流れによって教会を去って行っています。この重大な現実を自覚して、わたしたちの兄弟姉妹は、子供や青年たちがクリスチャン教育の神聖な目的と調和した全般的な教育を受けられるよう助ける小学校と中学校を設立するために多大な努力を払っています。これらの教育プログラムを通して、多くの家族が恩恵を受け、彼らのうち多くがこのような方法でイエスの足元に座るために来ています。

残念なことに、わたしたちの資金はこの偉大な働きを継続するのに十分ではありません。わたしたちは「教育の働きと贖いの働きは一つである」という価値を念頭に置きつつ、わたしたちが非常に熱心に取り組んできたこの重要な働きを継続するために必要な資金を主が備えてくださるという約束により頼んでいます。

親愛なる世界中の兄弟姉妹、友人方、中央アメリカユニオンのすべての信徒たちのために、わたしたちはみなさん一人ひとりに切にお願いいたします。この第一安息日献金のために惜しみなく捧げものと献金を捧げてくださるよう、また同時に中央アメリカの子供や青年たちのために大いなる祝福となつてくださるよう。どうぞ惜しみなく捧げてください。そして、神がみなさんに二重の祝福をもって報いてくださるようにとお祈りいたします。

中央アメリカユニオン教育支部

魂に接触する

「次の安息日には、ほとんど全市をあげて、神の言を聞きに集まってきた。」(使徒行伝 13:44)

「やさしい精神、おだやかな、人をひきつけるような行為は、まちがいを犯している者を救い、多くの罪をおおうことができる。」(ミストリー・オブ・ヒーリング[®] 141)

推奨文献： 教会への証 7 巻 25-41; 6 巻 31-57

日曜日

11月27日

1. 今日のためのメッセージ

a. イザヤ 56 章の預言の中で、今日のどの働きが予告されていましたか (1, 2 節)。

「最後の時代に 安息日の改革の働きが完成されることが、イザヤの預言の中に予告されている。(イザヤ 56:1, 2, 6, 7 参照)。(各時代の斗争闘下巻 174)

b. どの手段によって、わたしたちは最もよく、大都市にいる人々に証をすることができますか (ルカ 14:23)。

「全世界に一すべての国民、部族、国語、民族に一第三天使のメッセージの救う真理を伝えることがわたしたちの働きである。しかし、どのようにして人口の大中心にいる人々に接触するかを知るかが難しい問題であった。わたしたちは諸教会に入ることは許されていない。諸都市において大きなホールは高額であり、多くの場合、最高のホールにやってくる人はほんのわずかである。わたしたちは知らない人々から反対されてきた。わたしたちの信仰の理由は人々から理解されず、知らずに土曜日を日曜日の代わりに守っている狂信者だとみなされてきた。わたしたちは働きにおいて、どのようにして世俗と偏見の防壁を打ち破り、どのように人々にとって重要な意味を持つ尊い真理を提示するかがわからず途方に暮れていた。主はわたしたちにこの働きを成し遂げるために、キャンプミーティングが最も重要な手段であることを示された。」(教会への証 6 巻 31, 32)

2. わたしたちの輪を超えて接触する

- a. イザヤはキリストの囲いの外にいる尊いまじめな魂たちに対する神のご計画について、何を示されましたか(イザヤ 56:3-5)。このことは使徒たちの宣布において、どのように見られましたか(使徒行伝 13:44)。

「ユダヤ人たちはますます、自分たちが地上のほかのどの民よりも神聖な権利によって優れていると考えるようになった。しかし、彼らは神のすべての戒めに対する従順を捧げることによって、自分たちの区別された聖なる品性を維持することに注意を払ってこなかった。今や預言者は、神を愛し従う異邦人が、これまで選民だけに属していた特権を享受するようになると宣言する。これまで異邦人がユダヤ人の会衆に加わることが許されるためには割礼と厳密な礼典律の遵守が条件とされてきた。しかし、これらの区別は福音によって廃されるのであった。」(サインズ・オブ・タイムズ 1884 年 2 月 28 日)

- b. どのような利己的な人間の傾向を、わたしたちも家族も抵抗することを決心しなければなりませんか(ハガイ 1:4)。

「あなたがたの関心、努力、切望は自分の家族と自分の親戚のためである。しかし、あなたがたは自分たちの周りにいるほかの人々に接触すること、特別な輪の外に感化力を及ぼそうと思わない気持ちに勝利することは考えてこなかった。あなたは自分のものを偶像化し、自分たちだけで輪を閉じている。主がわたしとわたしの人々を救ってくださるようというのが大きな重荷である。この精神は、あなたが主にあって繁栄し、霊的な発達を遂げることができる前に、また教会が成長し、救われる魂が教会に加えられる前に死ななければならない。」(教会への証 2 巻 77)

- c. 一か所に固まる潜在的な危険性をどのように避けることができますか(ルカ 9:6)。

「まったく無視されている町や都市がどれほど多くあることであろう。わたしたちの民は一か所に固まることによって自らを害している。木が苗床で互いに密集しているときは、健全に丈夫に育つことができない。密集して植えられたあなたがたの苗床から移植しなさい。神は非常に多くの特権が一か所に集まることによって栄光をお受けにはならない。場所を与えなさい。あなたがたの植物を多くの場所へ植えなさい。そこでは一人がほかの人に援助を頼ることはない。彼らに成長する余地を与えなさい。これを主はあなたがたに要求しておられる。」(同上 8 巻 147)

3. わたしたちの思考や習慣に関連して

- a. 新しい信徒たちに与えられているすばらしい約束は何ですか（イザヤ 56:6, 7）。真理を分かち合うためにわたしたちはどのように自分の役割を果たすことができますか。

「すべての教会は聖霊の支配力を必要としている。そして今こそそれを求めて祈るべき時である。しかし、すべての神の働きにおいて、このお方は人がご自分とともに協力するよう計画しておられる。この目的のために、主は教会により高い敬神、すなわち単なる義務感以上の、自分の創造主に対する自分の義務についてのより明確な自覚を求めておられる。そしてクリスチャンの助けの働きは、これをもたらす一つの手段である。なぜなら、聖霊は神の奉仕をしているすべての人と通信するからである。……

長年教会員がとどまっていた死んだ水準から彼らを引き上げるために、定期的な組織だった努力を払いなさい。諸教会に健康改革の諸原則通りに生きる働き人たちを送り込みなさい。食欲における自己否定の必要性を認めることのできる人々を派遣しなさい。さもなければ、彼らは教会にとってわなとなるであろう。そのとき、いのちの息吹がわたしたちの諸教会のうちに入らないかどうか見てみなさい。」（教会への証 6 巻 266, 267）

- b. バリサイ人たちのわざわいは何ですか。またわたしたちはどのようにしてこれを避けることができますか（マタイ 23:1-3; 7:24-29）。わたしたちの個人的な健康習慣は、どのようにクリスチャンの証に影響を及ぼしますか（イザヤ 56:10-12; コリント第一 9:26, 27）。

「主はご自分の民が健康改革に関して後退することをお喜びにならない。もし彼らが健康改革の光に注意を払う必要性に目覚めないならば、彼らはまもなくメッセージの他の局面の重要性を認めなくなる。」（*スパーディング・マガン・コレクション* 418）

「もし諸教会が力を期待するならば、彼らは神が自分たちに与えてくださった真理に生きなければならない。もしわたしたちの教会員が〔健康改革〕に関する光を無視するならば、霊的にまた身体的な退化において確かな結果を刈り取ることになる。そしてこれらの古い教会員たちの感化力は、新しく信仰に入った人々を徐々に変化させる。主は今、一度も改心したことのない教会員や、かつては改心したが今は後退している人々のゆえに、多くの魂が真理に導かれるように働いておられない。これらの改心していない教会員たちは、新しい改心者にどのような感化力を及ぼすことであろう。彼らは神の民が担うように神が与えてくださったメッセージを無効にするのではないだろうか。」（教会への証 6 巻 370, 371）

4. 追いやられた者へのやさしさ

- a. 特別に必要としている人々のために、神が持っておられるその保護を述べなさい (イザヤ 56:8)。

「まごころと真理のうちに神を愛するすべての人は、キリストがそのために死なれた魂を愛するようになる。もしわたしたちが魂に善をなしたいと望むなら、これらの魂に対するわたしたちの成功は、わたしたちが彼らを信じ正しく評価することを、彼らがどれくらい信じるかに比例する。苦闘している魂に対して示される敬意は、人間の失った自己尊厳を、キリスト・イエスを通して回復する確かな手段である。人がどのようなものになれるかという概念が進むことは、わたしたち自身が十分に評価できない助けである。わたしたちは毎時間神の豊かな恵みを必要としている。そのとき、わたしたちは豊かで実際的な経験を得るようになる。なぜなら、神は愛だからである。愛のうちに宿る者は、神のうちに宿る。彼らの必要としている愛を与えなさい。もつとも不幸な者、もつとも付き合いにくい気質を持っている者こそ、わたしたちの愛、やさしさ、同情を必要としている。わたしたちの忍耐を試す人々こそ、もつとも愛を必要としている。わたしたちは一度この世を通るだけである。わたしたちができる良いことは何でも、もつとも熱心に、倦むことなく、キリストがご自分の働きにおいて述べられているのと同じ精神をもってなすべきである。彼は弱ることなく、衰えることがないのである。乱暴で頑固で不機嫌な気質の人々こそ、もつとも助けを必要としている。どのようにして、彼らを助けることができるであろうか。それはただ、彼らを扱う際にキリストが墮落した人類にあらわされた愛を実践することによってである。あなたは彼らに当然な扱いをすることができる。もしキリストがわたしたちをそのように扱われたら、どうであろうか？当然受けるべきではないお方は、わたしたちが当然受けるべき取り扱いを受けられた。それでいて尚、わたしたちはキリストから、わたしたちには受ける価値がなくこのお方が受ける価値のある恵みと愛をもって扱われているのである。ある品性を持った人々を、彼らは全くふさわしいとあなたが考える通りに扱うなら、あなたは彼らから希望の最後の糸を断ち切り、あなたの感化力を損ない、魂を破滅させるのである。それは割に合うであろうか？否、わたしは申し上げる、否、100回否と。あなたが与えることのできるすべての助けを必要としているこれらの人々を、愛する同情に満ちた憐れみの心、キリストのような愛のあふれる心に近く結びつけなさい。そうすればあなたは一人の魂を死から救い、多くの罪を覆うのである。」(クリスチャン教育の基礎 281, 282)

- b. わたしたち自身のただ中で、わたしたちは追いやられている人々のためにどのように働くことができますか (ヤコブ 5:19, 20)。

「過ちを犯し、自分自身の恥と愚かさを感じている人々が多くいる。彼らは自分たちの失敗や過ちを眺めて、絶望寸前まで追いやられている。これらの魂をなおざりにしてはならない。人が流れに逆らって泳がなければならないとき、あらゆる潮流の力が彼を押し戻そうとする。そのとき、長兄の手が沈むベテロの手に差し伸べられたように、助けの手をのべなさい。彼に希望の言葉を語りなさい。」(天国で 295)

5. 主人の模範に従う

- a. キリストの病んだ魂に対する憐れみに満ちた伝道は、このお方に従う人々の生活において、どのように反映され、模倣されることが出来ますか（イザヤ 61:1-3）。

「キリストの使命は病人を癒し、希望のない者を励まし、傷心の者を包むことであった。この回復の働きが人類の困窮し苦しむ人々の間で実行されなければならぬ。神はあなたがたの慈善だけでなく、あなたの快活な表情、希望の言葉、そして握手を求めておられる。神の苦しんでいる者たちの幾人かを救済しなさい。ある人々は病み、希望が去ってしまった。彼らに日光を取り戻そう。勇気を失ってしまった魂がいる。彼らに語り、彼らのために祈りなさい。いのちのパンを必要としている人々がいる。彼らに神のみ言葉を読んで聞かせなさい。乳香では及ばず、癒す薬のない魂の病気がある。これらの人々のために祈りなさい。彼らをイエス・キリストの許へ連れて行きなさい。そうすればあなたのすべての働きにおいて、キリストは人の心に印象を与えるためにご臨在くださる。」（医事伝道と健康教育への召し 23）

「わたしたちはイエスのみ足の跡をたどるために、ナザレやカペナウムやベタニヤに行く必要はない。病床のそばに、貧しいあばらやに、あるいは、大都市の雑踏した狭い裏通りに、そして人の心が慰めを必要としているどこにでも、イエスのみ足跡を見いだすのである。

わたしたちは飢えた者に食を与え、裸の者に着せ、苦しみ悩む者を慰めなければならない。気落ちした者に仕え、望みなき者に希望をおこさせなければならない。

無我の奉仕にあらわされるキリストの愛は、悪人を改めさせるのに剣や法廷よりも力がある。これらのものは、犯罪者を恐怖させるには必要だが、愛のある伝道者は、これ以上のことができるのである。しかられて頑固になった心も、キリストの愛にはとけることが多い。」（ミストリー・オブ・ヒーリング 76, 77）

個人的な復習問題

1. どの特別な目的のためにキャンプミーティングはもともと計画されていきましたか。それはなぜですか。
2. 信仰を持つ家族のいない新しい魂に、なぜ関心を示すべきなのですか。
3. わたしたちの個人的な健康習慣は、どのように伝道の成功と関連がありますか。
4. わたしたちが人々に当然の扱いをするとき、何が起こりますか。イエスはわたしたちをどのように扱ってくださいますか。
5. イエスがなさるように個人的に奉仕する機会を、どこで見出すことができますか。

たゆまない伝道者

「さあ、かわいている者はみな水にきたれ。金のない者もきたれ。来て買い求めて食べよ。あなたがたは来て、金を出さずに、ただでぶどう酒と乳とを買い求めよ。」（イザヤ 55:1）

「まもなく、全世界に悩みが生じるようになる。すべての人が神を知ることを求めるようになる。わたしたちには遅らせる時間はない。真剣さと熱意をもってメッセージが伝えられなければならない。〔イザヤ 55:1; 56:1 引用〕。」（教会への証 9 巻 228）

推奨文献： 教会への証 5 巻 385-389; 同上 6 巻 14-29

日曜日

12月4日

1. 困難を通じての辛抱

- a. わたしたちの直面するであろう厳しい状況にもかかわらず、どのメッセージが今日すべての人に伝えられなければなりませんか（イザヤ 55:1, 2）。神はなぜご自分の教会に試練がもたらされることをお許しになりますか。

「教会のどの時代においても、神に任命された使命者たちは真理のために責めや迫害にさらされた。しかし、神の民がどこへ追いやられようと、愛された弟子のように荒涼とした島に追放されても、キリストは彼らがどこにいるかをご存じであり、彼らを強く祝福し、平安と喜びで満たしてくださる。……

ご自分の教会を思う神の愛は無限である。ご自分の嗣業に対するこのお方の保護は止むことがない。このお方は、教会の清め、すなわち教会の現在と永遠の益のために不可欠なものでなければ、苦難が教会に及ぶことをお許しにならない。このお方は地上における公生涯の始めと終わりに宮を清められたように、ご自分の教会を清められる。このお方がテストや試練のうちに教会にもたらされるすべてのことは、神の民が世界の各地で十字架の勝利をもたらすために、もっと深い敬神と、もっと力を得ることができするためである。このお方はすべての人がなすべき働きを持っておられる。継続的な拡張と進展がなくてはならない。働きは都市から都市へ、国から国へ、国家から国家へ絶えず前進し、向上し、確立され、強められ、定着されなければならない。」（教会への証 9 巻 227, 228）

2. 起きよ、光を放て！

- a. 福音のメッセージを聞くすべての人の心の中にどの光が輝かなければなりませんか（コリント第二 4:6）。だれに、そしてだれを通して、今日光が輝かなければなりませんか（イザヤ 9:2; ピリピ 2:15）。

「キリストはわたしたちの世に当時蔓延していた誤謬と迷信の完全な闇のただ中で、御父を表すために来られた。キリストの弟子たちは、毎日の生活の中でこのお方を表すべきである。またこうして天からの真の光が明るい着実な光線のうちに世を輝き出するためであり、こうして品性が神のみ言葉を自分の案内また標準としない人々のうちに見られる品性とは全く異なるものとして現れるためである。神の知識が世界を覆う闇と民を包む完全な闇のただ中で保存されなければならない。キリストの純潔な品性が、各時代にわたってキリストを信じ神のみ言葉を信じると公言する人々によって誤表されてきた。」（牧師への証 152）

- b. キリストの知識とこのお方の栄光の光は、どれほど遠くにまで及ぶべきですか（イザヤ 49:6）。
- c. これらの終わりの時代において神の栄光はどのように表されますか（イザヤ 60:1, 2; マタイ 5:16）。

「世界は神に関する誤った解釈の暗黒におおわれている。人びとは、神の品性の知識を見失い、それを誤解し、誤って理解している。この時にあたって、神からのメッセージ、よき感化を与え、救いの力をもったメッセージを宣言しなければならない。神の品性を明らかにしなければならない。世界の暗黒の中に、神の栄光の光、恵みとあわれみと真理の光が輝かなければならない。」（キリストの実物教訓 391）

「わたしたちの教会信徒たちはまだ彼らがほとんど始めていない働きを成し遂げることができる。……生活できる場所が開けたら、よく真理に根ざした家族が、一か所に一つか二つ入り、伝道者として働くようにしなさい。……彼らは出版物を配布し、自分たちの家庭で集会を持ち、隣人たちと知り合いになり、彼らをこれらの集会へ招待することができる。こうして、彼らは自分たちの光をよいわざのうちに輝かせるのである。」（教会への証 8 巻 245）

3. 地を栄光で満たす！

- a. 神は最後の大きな伝道の働きの推進力をどのように描写しておられますか（黙示録 18:1-4）。この働きは、なぜ代理によってはできないのですか。

「神はご自分の民が何かをするように、そして今それをするように目覚めさせるため、次々とメッセージを送ってこられた。しかし、その『わたしはだれをつかわそうか』という召しに、『ここにわたしがおります。わたしをおつかわしてください』と答えるものはほとんどいなかった（イザヤ 6:8）。」（教会への証 9 卷 46）

「多くの宗教教師たちは、個人的な努力によって、何もキリストのためにしていない。彼らはまさに自分自身が行うべき事柄をほかの人々にさせて満足している。そして働き人たちに弱々しい感化力を添えることによって、自分は代理によって善をなしていると感じるのである。このような人は愛によって働き、魂を清める信仰を持っていない。彼らには、日常の仕事に入り、自分の生活の行動一つ一つを調整する本物の宗教がない。キリストを信じる生きた信仰はわたしたちの家族や近隣における善い行いによって、また貧しい人々への思いやり深い実際の配慮によって、苦悩のうちにあるやもめや孤児を訪ね慰めることによって、また自らを世からのしみに染まずにいることによって、また自分たちの資金と感化力を神のみ事業の前進のために用いることによって表される。これは不承不承つぶやきながらではなく、イエスがわたしたちのためにすべてを与えてくださったように惜しみなく快活になされなければならない。」（サイン・オブ・タイムズ 1878 年 8 月 22 日）

- b. この働きにおいて、わたしたちが神と働く共労者となることができるいくつかの方法は何ですか（コリント第一 3:9, 10）。

「恩恵期間が急激に閉じている今ほど、キリストのみ事業における熱心で自己犠牲的な労働の必要性が大きかったことはかつてなかった。……兄弟姉妹がた、あなたがたは〔マケドニアの〕叫びに次のように答えるであろうか『わたしたちは伝道者と金銭の両方をあなたがたに送るために最善を尽くします。自分たちの家の装飾において、身なりを飾ることにおいて、そして食欲を満たすことにおいて、自己を否定します。わたしたちはゆだねられた資金を神のみ事業に捧げます。そして自分自身を惜しむことなく神のみ働きにお捧げします』。……

こうして彼らは真理の光を受けたことのない人々へ紙面や書物を送るためのお金を献金することができる。彼らは伝道の働きにふさわしい学生たちの費用を援助することができる。あなたが節約できる一ドル一ドルが天の銀行で運用されるようにしなさい。」（教会への証 5 卷 732, 733）

4. 人々を啓発する

- a. どの確かな憐みの招きを、あらゆる国家に伝えるよう召されていますか。またそれをどのように伝えるべきですか（イザヤ 55:3-5）。

「わたしは主の民に、互いに批判するのをやめ、今の時代のための真理の宣布に献身するように懇願する。……わたしたちは今、魂の真のへりくだりのうちに神のみ前に頭を垂れる必要がある。なぜなら、雲と濃い闇の日が急速に近づいているからである。

大いなる最後の戦いがわたしたちの目前に迫っている。しかし、神を愛し、その律法に従うすべての人に助けがもたらされる。そして地、すなわち全地が神の栄光で明るくされるのである。」（ビュー・アンド・ワルド 1906 年 4 月 19 日）

「自分たちの間で十字架につけられたイエス・キリストが描き出されたすべての人にこの働きが与えられている。聖霊のパプテスマによって、神の民は、自分たちの主人の手段を通して、キリストがなさった働きをしなければならない。彼らは神の慈愛を世に表さなければならない。神性にあずかっている者として、イエスを信じる信仰を通して彼らは自分自身の魂を救うだけではなく、キリストは彼らについて次のように言われた、あなたがたは神と働く共労者である。このお方は、ご自分の共労者として各人にその働きを与えてこられた。このお方の代表者として、彼らは世に対して招きと憐みのメッセージを担わなければならない。

キリストは世の贖い主を掲げるようにご自分の弟子たちに命じておられる。彼らは自分に委ねられた能力を捧げるべき自分たちの義務を自覚しなければならない。それらは世の啓発と回復のためにこれほど十分な犠牲を払われたこのお方の福音へ魂を勝ち取る働きに捧げなければならない。」（ビュー・アンド・ワルド 1898 年 3 月 22 日）

- b. ほかの人々に現代の真理の光を直接神のみ言葉から分かち合おうと努めている人々は、何を覚えているべきですか（イザヤ 55:9-11）。

「聖書研究を持つ計画は、天来の計画であつた。伝道事業のこの部門に携わることでできる人々は男も女もたくさんいる。働き人はこうして進歩し、神の有能な人々になるのである。この手段によって神のみことばは多くの人々に与えられてきた。そして働き人はあらゆる民族、国語を持つ人々に個人的に交わるようになる。聖書は家族の中に運ばれて行き、その聖なる真理は良心にしみじみ訴えるようになる。人々は自分で読み、調べ、判断するよう求められ、神の啓発を受けるか拒むかの責任を取らねばならない。神はみ名によってなされるけんそんな努力にはことごとく成功の栄冠をかぶせてくださるのである。」（クリスチャンの奉仕 202）

5. 神聖な標準が掲げられる

- a. 敵が、魂に接触する努力をあきらめさせようと誘惑して、わたしたちを圧倒するとき、神はわたしたちのために何をしてくれますか（イザヤ 59:19）。
- b. 困難な状況に直面したとき、どの思いの態度によって、前進することが可能になりますか（イザヤ 50:7）。

「わたしは若いときに、もしわたしが状況に左右されることを自ら許すなら、自分の生涯は失敗だと思い定めた。わたしは義務だと思ふことは何でも、状況がわたしに反していても行なった。わたしの父はよく言ったものである、『エレン、もしあなたの義務がそのような場所へ行くことなのであれば、主はあなたにそれがあなたの義務であるというはっきりとした証拠をくださるだろう。そしてこのお方はそれを困難なく行なう力をくださるだろう』。わたしは言った『でもお父さん、もし困難が生じたときには、わたしはそれに対処するためにもっと大きな決意を奮い起こさなければならぬのです。そしてそうするとき、わたしは価値ある経験、すなわち、自分が管理するように委ねられている能力を賢明に用いるために助けとなる経験を得るのです』。

ここにわたしたちが各自なすべき働きがある。わたしは現在ほど魂の価値を認め、感じたことはかつてなかった。わたしたちは救いの働きの重要性をどのように悟ることができるであろうか。魂の価値に比べたら、ほかのものはみな無価値なものとして沈んでしまう。この世とその宝、この世の人生とその幸福は、一人の魂でも永遠に救われる喜びと比較したら、大した意味はない。わたしたちが、魂が栄光の御国に救われるときに何を楽しむことになるかについてははっきりと明確な概念を持つようになるまでは、わたしたちが神の命によって計られる命の価値を十分に理解するまでは、克服し勝利を得る人々のために積まれている報いの富を十分に悟ることができるまでは一魂の計り知れない価値を知ることはできない。」（レビュー・アンド・ヘルト^{*} 1880年3月25日）

個人的な復習問題

1. わたしたちは今日、どのようにして自分たちの伝道の働きにたゆまないものとなることができますか。
2. 真理を広めることにおいて信徒たちは、どのように甚大な働きをなすことができますか。
3. わたしたちはどのようにマケドニアの叫びに注意を払うことができますか。
4. どのように本物の宗教は生活の中に働きますか。
5. 世とその宝は、いつわたしたちにとってその価値を失いますか。

最終的な勝利

「使徒たちは主イエスの復活について、非常に力強くあかしをした。そして大きなめぐみが、彼ら一同に注がれた。」(使徒行伝 4:33)

「まさにこの時、〔神の〕御霊とその恵みはそれらを必要とし、このお方をそのみ言葉通りに信じるすべての人のためである。」(教会への証 8 巻 20)

推奨文献： 患難から栄光へ上巻 43-53; キリストの実物教訓 391 ~ 397

日曜日

12月11日

1. 力をもって証する

- a. ペンテコステの日の聖霊降下の後の書記の弟子の経験を述べなさい (使徒行伝 2:16, 17; 4:33)。

「〔初期の使徒たちの時代において〕、何百もの人々がメッセージを宣布した。『御国は近づいた』。彼らは止めることも脅迫によって怯えさせることもできなかった。主が彼らを通して語られた。そして彼らが行くところはどこでも、病人が癒され、貧しい者は自分たちに福音が宣布されるのを聞いた。

神は人が神の御霊の支配に自らを明け渡すとき、このように力強く働くことがおできになるのである。」(教会への証 8 巻 20)

- b. どの預言がこの終わりの時代にもっと完全に成就するようになりますか (イザヤ 60:3-5)。

「神の民がもっと完全に悪から分離し、このお方が天の光を彼らの上に豊かに臨ませることができ、彼らから世に輝き出るようになれば、そのとき、過去にイザヤの預言が成就した以上にもっと完全に成就するようになる。〔イザヤ 60:3-5 引用〕。」(天国で 313)

「クリスチャンはすべての不和を捨て、失われた者の救いのために神に献身しよう。彼らに信仰のうちに約束された祝福を求めさせなさい。そうすれば、それはもたらされる。使徒たちの時代の御霊の注ぎは『前の雨』であった。そしてその結果は栄光に満ちていた。しかし、後の雨はもっと豊かになる。」(教会への証 8 巻 21)

2. 慰めの時

- a. リバイバルと慰め（活気づけ）を再び保証したどの約束をホセアは前の雨と後の雨のたとえの下で伝えていますか（ホセア 6:1-3）。
- b. 約束された「慰めの時」―後の雨の力をもって聖霊の完全な注ぎ―を受ける条件は何ですか（使徒行伝 3:19-21）。

「福音の大いなる働きは、その開始を示した神の力のあらわれより劣るもので終わることはない。福音の開始にあたって秋の雨（前の雨）となって成就した預言は、その終局において、春の雨（後の雨）となって再び成就するのである。これが、使徒ペテロが待望した「慰め〔原文では refreshing（活気づけ、回復の意）〕の時」である。……〔使徒行伝 3: 19, 20 参照〕」（各時代の犬争闘下巻 382）

「生ける神の印を受け、悩みの時に保護される人々は、イエスのかたちを完全に反映していなければならない。

わたしは、多くの人々が、必要な準備をおろそかにしていながら、主の日に立ち得て神のみ前に生きるにふさわしいものとなるために、「慰めの時」と「春の雨」（後の雨）とを待っているのを見た。ああ、わたしは、なんと多くの人々が、悩みの時に、避け所がないのを見たことだろう。彼らは必要な準備を怠った。だから、彼らは、聖なる神の前に生きるのに適したものと彼らをするためにすべての者が持たなければならない慰めを、受けることができなかった。」（初代文集 149）

- c. 制限のない聖霊の力を受けるために、わたしたちのために、またわたしたちによってどの働きがなされなければなりませんか（イザヤ 43:25; 44:22）。

「わたしたちは祝福された保証をわがものと主張することができる。『わたしはあなたのとがを雲のように吹き払い、あなたの罪を霧のように消した』（イザヤ 44:22）。あなたの『その多くの罪はゆるされている』（ルカ 7:47）。ああ、神の愛の日光はなんと尊く、なんと活気づけるものであろうか！罪人は自分の罪のしみに汚れた生涯を見て、そして次のように言うことができる『だれが、わたしたちを罪に定めるのか。キリスト・イエスは、死んで』、『罪の増し加わったところには、恵みもますます満ちあふれた』（ローマ 8:34; 5:20）。回復者キリストは魂のうちに命の新しい原則を植え付ける。そしてその植物は成長して、実を結ぶのである。キリストの恵みは許すかたわら清めて、人を聖なる天国にふさわしいものとする。わたしたちは自分たちの主イエス・キリストの恵みと知識に成長し、キリストにある満ちみちた男女の高さに至らなければならない。」（ビュ・アンド・ワルド 1891 年 7 月 14 日）

3. 救いの上衣

- a. わたしたちは自分の無価値さを感じるかもしれないが、その一方悔い改めのうちに主の許へ行くとき、受け入れてくださるといふほどの保証を持つことができますか(イザヤ 61:10)。

「自分がもっと善良になり、神の前に出るにふさわしい者となるまでは、キリストに近づくべきではないという敵のささやきに耳を傾けてはならない。それまで待っているとすれば、いつまでも主のところに来ることはできない。もし、サタンが、あなたの汚れた衣を指さすならば、「わたしに来る者を決して拒みはしない」というイエスの約束をくりかえしなさい(ヨハネ 6:37)……

ゼカリヤの美しい比喩的預言の中で、大祭司ヨシュアが汚れた衣を着て、主の使いの前に立ち、罪人を代表している。そして、主からみことばがあった。『彼の汚れた衣を脱がせなさい』。またヨシュアに向かって言った、『見よ、わたしはあなたの罪を取り除いた。あなたに祭服を着せよう。』……そこで清い帽子を頭にかぶらせ、衣を彼に着せた(ゼカリヤ 3:4, 5)。そのように神は、あなたに「救いの衣」を着せ、『義の上衣』をまわらせてくださる(イザヤ 61:10)。(キリストの実物教訓 186)

- b. 聖霊「後の雨」の力の下でまもなく何が起こりますか(イザヤ 61:11; ヨエル 2:23, 28-31)。

「わたしたちは後の雨を待っていてはならない。それはわたしたちの上に降る恵みの露と雨を認め、感謝するすべての人に臨むのである。わたしたちが光の断片を集めるとき、わたしたちがご自分に信頼することを喜ばれる神の確かな憐れみに感謝するとき、そのときすべての約束は成就する。〔イザヤ 61:11 引用〕。……

テストの時はわたしたちに迫っている。なぜなら、罪を許す贖い主キリストの義の啓示のうちに第三天の大いなる叫びはすでに始まっているからである。これが全地をその栄光で満たす天使の光の始まりである。)(SDA パイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 7 巻 984)

「民のために働きがなされなければならない。さもなければ多くの人々は天から遣わされてその栄光で全地を明るくする御使の光を受ける準備ができないであろう。あなたは自分の魂を虚栄のうちに高く上げ、まがった事柄を語り、ひそかに苦い根を抱えているなら、後の雨の時に、自分が誉を受ける器として見いだされると考えてはならない。」(原稿リ-ス 1 巻 175)

4. 雨のために準備する

- a. わたしたちは後の雨にあずかるために、どのように自分たちの心を備えなければなりませんか（ヨエル 2:12-14; ホセア 10:12）。

「神はご自分の民を一步一步導いておられる。このお方は、心の中に何があるかを明らかにすることを意図した困難な地点へと彼らを導かれる。ある者はある点は耐えるが次で脱落する。……ある者はある点では喜んで受け入れるが、神が別のテストとなる点へ導かれると、それにしり込みして後へ引く。なぜなら、それが大事にしている偶像を直撃することが分かるからである。ここで、彼らは自分たちの心にイエスを締め出している何かがあるのを認める機会がある。彼らはあるものを真理よりも高く評価しており、彼らの心はイエスを受け入れる準備ができていないのである。個々人はある一定期間、自分たちの偶像を犠牲にし、真の証人の勧告に注意を払うかどうかを調べるためにテストされ試される。もしだれでも真理に従うことによって清められようとせず、自分たちの利己心、自分たちの誇り、また悪感情を克服しようとしなければ、神の御使たちは次の命令を出す、『彼らは偶像に結び連なった。彼らをなすがままにさせよ』。そして彼らは自分たちの働きを続け、これらの征服されていない罪深い特質を持ったまま、悪天使たちの支配に任される。すべての点に至り、すべてのテストに耐え、代価が何であっても勝利した人々は、真の証人の勧告に注意を払ってきた。そして彼らは後の雨を受け、こうして昇天にふさわしいものとされるのである。」（教会への証 1 巻 187）

- b. 心の深い吟味と本物の悔い改めの他、後の雨に関して、わたしたちにはどのような義務がありますか（マタイ 5:6; ゼカリヤ 10:1）。

「なぜわたしたちは御霊の賜物が力を受ける手段でありながら、それに飢え渴かないのでしょうか。なぜそれについて語り、それを求めて祈り、それについて説教しないのでしょうか。」（同上 8 巻 22）

「持っている光に従って生きている人々だけが、もっと大きな光を受けるのである。わたしたちが活動的なクリスチャンの徳を例証することにおいて日々前進していない限り、後の雨において聖霊が表されても認めることはないのである。」（信仰によってわたしは生きる 333）

「わたしたちが完全に心を尽くして、キリストの奉仕に献身するとき、神は制限のないご自分の御霊の注ぎによってその事実を認めてくださる。しかし、これは教会の大部分が神と共に働く共労者となっていないかぎり、起こらない。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1896 年 7 月 21 日）

5. 承認する神の印のために奮闘する

- a. キリストに従うすべての人々の集中する焦点は何であるべきですか。そしてなぜこれが必要なのですか（黙示録 3:5; 7:1-4, 13, 14; コリント第二 7:1）。

「生ける神の印はただ品性がキリストのすがたを帯びている者の上にのみ押される。」（ビュー・アンド・ヘルド 1895 年 5 月 21 日）

「わたしたちが神の子供となると、わたしたちの名は小羊の命の書に記され、それらは調査審判の時までそこに残る。そのときすべての個々人の名が呼ばれて、彼の記録が『わたしはあなたのわざを知っている』と宣言されるお方によって吟味される。もしその日にわたしたちの悪い行いが完全に悔い改められていないことがわかると、わたしたちの名は命の書から消し去られる。そしてわたしたちの罪が不利な証言をするのである。もし信徒だと公言する人が自己に満足しているなら、もし言葉や精神において神の聖なる律法のわずかな点でも破っているなら、彼はイエスを誤って表しているのであり、裁きの日に次の恐ろしい言葉が語られる、『彼の名を命の書から消し去れ。彼は悪を働く者だ』。しかし御父は自分に信頼せず、疑いや誘惑に悩まされているかもしれないが神を恐れる魂を憐れまれる。イエスは彼のために嘆願され、彼の名を御父とご自分の聖天使たちの前で告白してくださるのである。」（サイン・オブ・タイムズ 1885 年 8 月 6 日）

「しかし、自分の側で罪に打ち勝つための断固とした努力をすることなしに、自分の品性に魔法のような変化を見ようとしている人々は失望することになる。わたしたちには、イエスを眺めている間は恐れる理由がなく、このお方がご自分の許へ来るものをみな最高にまで救うことがおできになるかを疑う理由はない。しかし、わたしたちは自分の古い性質が再び至上権を得ることがないか、敵が何かわたしたちを再び捕囚とするわなをしかけることがないかを絶えず恐れることはできる。……蠅が印のかたちを残すように、魂は神の御霊の印を受けて、キリストのかたちを保持するのである。」（エレゲッド・メッセージ 1 巻 336, 337）

個人的な復習問題

1. わたしたちは後の雨の力の下でどのような結果を見ることを期待できますか。
2. だれだけが神の印を受けるようになりますか。
3. わたしたちが後の雨を受けることを妨げているものは何ですか。
4. 後の雨を受けるために、わたしたちは何に勝利する必要がありますか。
5. 罪を克服することに関して、わたしたちは何を恐れるべきですか。

地上の最後の日々

「正義をもって貧しい者をさばき、公平をもって国のうちの柔和な者のために定めをなし、その口のむちをもって国を撃ち、そのくちびるの息をもって悪しき者を殺す。」(イザヤ 11:4)

「わたしたちはみな、不注意に無関心ではあまりにも世界歴史の厳粛な時代に生存している。」(神のむすこ娘たち 118)

推奨文献： 各時代の大争闘下巻 371-386, 395-400, 412-423

日曜日

12月18日

1. すばらしい目覚め

a. なぜ、後の雨は歴史上、これほど喜ばしいできごとなのか (ホセア 6:1-3)。

「神のしもべたちは、きよい献身の喜びに顔を輝かせ、天からのメッセージを伝えるために、ここかしこ奔走する。全世界の幾千の声によって、警告が発せられる。奇跡が行なわれ、病人はいやされ、しるしと不思議が信じる者に伴う。サタンもまた、偽りの不思議を行ない、人々の前で天から火を降らすことさえする (黙示録 13:13 参照)。こうして、地上の住民は、立場を明らかにしなければならなくなる。

メッセージは、議論によるよりも、神の霊の深い感動によって伝えられる。論拠はすでに示された。種はまかれた。そして今、それが生えて、実を結ぶのである。伝道者によって配布された文書は、その感化を及ぼした。しかし、感動を受けた人々の多くは、真理を十分に理解して、それに服従することを、妨げられていた。けれども、今、光は至るところにゆきわたり、真理は明らかにされ、神の忠実な子供たちは、彼らを束縛していたかせを絶ち切るのである。家族関係、教会関係は、もはや彼らを止める力がない。真理は他の何物よりも尊いのである。諸勢力が力を結集して真理に反対するにもかかわらず、多くの者が主の側に立つのである。」(各時代の大争闘下巻 382, 383)

2. 大争闘が明らかになる

- a. 後の雨の力の下で福音が成功のうちに提示されるとき、もう一つの結果は何ですか（伝道の書 11:1, 2; コリント第二 2:14-17）。

「信仰と祈りの人は、聖なる熱意に燃えて出て行き、神から与えられる言葉を宣言せざるをえなくなる。バビロンの罪は暴露される。教会の法令を政権によって強制することの恐るべき結果、心霊術の侵入、法王権のひそかではあるが急速な発展などが、みな暴露される。これらの厳粛な警告によって、人々は動かされる。こうした言葉を聞いたことのない者が、幾千となく耳を傾ける。バビロンとは、その誤りと罪のために、また、天からの真理を拒んだために倒れた教会である、ということを知り、彼らは驚くのである。人々が、彼らのかつての教師たちのところへ行くと、これらのことは真実であるかと、熱心に尋ねるときに、牧師たちは、作り話を語り、耳ざわりのよいことを予言し、彼らの恐怖と目ざめた良心をしずめようとする。しかし、多くの人々は、単なる人間の権威に満足せずに、はっきりした『主はこう言われる』という言葉に要求するので、一般教会の牧師たちは、昔のパリサイ人のように、自分たちの権威が疑われたことを怒って、そのメッセージはサタンから出たものであると非難し、罪を愛する群衆を煽動して、その宣布者たちをあざけり、迫害するのである。

争闘が新しい分野に及び、ふみにじられた神の律法に人々の心が向けられるとき、サタンは騒ぎ出す。メッセージに伴う力は、それに反抗する人々を怒らせるだけである。牧師たちは、その光が彼らの群れの上に輝かないようにと、ほとんど超人的な力で、それをさえぎろうとする。彼らは、あらゆる手段に訴えて、これらの重大な問題に関する討論を圧迫しようとする。教会は、政権の強大な権力に訴える。そして、この働きにおいて、カトリックとプロテスタントは提携する。日曜休業運動が、ますます大胆に、ますます断固として推進されるにつれて、戒めを守る人々に対して法令が發布される。彼らは、罰金や投獄をもって脅かされる。そして、ある者は有力な地位によって、また他の者は報賞や便宜の提供によって、信仰を放棄するよう勧誘される。しかし彼らは、断固として、『われわれが誤っていることを神の言葉によって示してほしい』と答えるのである。これは、同様の状況の下でルターが行なったのと同じ訴えである。法廷に呼び出された者たちは、真理の力強い弁明をする。そして、それを聞く者の中には、神のすべての戒めを守るという立場をとるように導かれる者が出てくる。こうして、他の方法ではこれらの真理を知ることができない幾千という人々の前に、光がもたらされるのである。」（各時代の争闘下巻 376.377）

3. 神からのみの保護

- a. 十誡である神の道德律に対して、教会と国家が挑戦的な反逆のうちに結合するとき、その聖なる諸原則に固く従うことを求めるわずかな忠実な人々を何が襲いますか（テモテ第二 3:12; 黙示録 13:11-17）。

「教会の制度と安息日がキリスト教世界全体の特別な論争点となり、宗教と政治の当局者が結束して日曜日遵守を強要するとき、少数の者は、世間の要求に屈することを断固として拒むために、全世界ののろいの的となる。教会の制度と国家の法律に反対の立場をとる少数者は許すべからざる者であり、全世界が混乱と無法の状態に陥るよりも、彼らが苦しみを受けるほうがよいと主張される。同じ議論が千八百年前〔注・著者の執筆当時から〕に、『民の役人たち』によってキリストに対してなされた。陰險なカヤパは、「ひとりの人が人民に代って死んで、全国民が減びないようになるのがわたしたちにとって得だ」と言った（ヨハネ 11:50）。この議論は決定的なものに思われ、ついに、第四条の戒めにある安息日を聖とする者に対して法令が発せられ、彼らは最も重い刑罰に相当する者として非難される。そして人々は、一定期間ののちには彼らを殺してもよい自由が与えられる。旧世界のカトリック教と新世界の背教的新教とは、神の戒めの全部を尊ぶ者たちに対して、同じような手段をとるであろう。

そのとき神の民は、ヤコブの悩みの時として預言者によって描かれている悩みと苦しみの場面に投げ入れられる。」（各時代の争闘下巻 387, 388）

- b. 通常の商流が断たれ、市民国家の保護が取り去られるとき、わずかな神の忠実な者たちはどのように生き残りますか（イザヤ 43:18-21; 41:17-20; 33:16）。

「悩みの時の物質的 necessary のための準備をすることは、聖書に反することであることを、主は、繰り返してわたしに示された。もし聖徒たちが、自分たちのところ、または畑に食糧を貯えていたりしても、もし国に戦争、ききん、疫病が起これば、それは暴徒たちに奪い去られ、他人が畑の作物を刈るようになることを、わたしは見た。それは、われわれが神に全く信頼する時である。そして神はわれわれをお支えになる。その時に、われわれのパンと水は必ず与えられ、われわれが物に乏しかったり、飢えたりすることがないことを、わたしは見た。なぜならば、神は荒野で、われわれのために食卓の用意をすることがおできである。もし必要ならば、彼がエリヤを養われたように、われわれを養うためにからすを送ったり、あるいは、イスラエルのためになされたように、天からマナを降らせることもなさるのである。」（初代文集 127）

4. 堅固な安全

- a. 悩みの時を予期して、神の民は何をするように命じられていますか。またどのように彼らはかくまわれますか（イザヤ 26:20, 21; 49:15, 16）。

「悩みの時に、家や土地はなんの役にも立たなくなる。その時、彼らは怒り狂った群衆から逃げなければならない。そしてその時、彼らの財産は、現代の真理の働きを推進するために用いることができないからである。聖徒たちが、悩みの時がやってくる前にすべての邪魔物を切り捨てて、犠牲によって神と契約を結ぶことが、神のみこころであることを、わたしは示された。もし彼らが、財産を祭壇の上において、なすべき務めについて、熱心に 神に祈り求めるならば、神は、これらのものをいつ処理すべきかを教えてくださる。そうすれば、彼らは悩みの時に自由になり、負担となる邪魔物がなくなる。

もし彼らが、財産に執着し、自分たちの義務について主に尋ねることをしないならば、主は彼らに義務を知らされない。そして、彼らは財産を持っていることを許される。そして、悩みの時に、それは彼らを押しつぶす山のように彼らの前にあらわれるだろう。」（初代文集 127, 128）

「火のような試練の時に〔キリストは〕『さあ、わが民よ、あなたのへやにはいり、あなたのうしろの戸を閉じて、憤りの過ぎ去るまで、しばらく隠れよ』と言われる（イザヤ 26:20）。彼らが隠れる部屋とは何であろうか。それはキリストと聖天使たちの保護である。……

わたしは、聖徒たちが都会や村を去り、互いに共同して団体をつくり、人里離れた場所に生活するのを示された。悪人たちが飢えと渇きに苦しんでいる時に、天使たちは聖徒たちに食物と水をあたえた。

夜の間に、非常に印象深い光景がわたしの前を過ぎた。大変な混乱と軍の衝突があるように見えた。主からの使いがわたしの前に立って言った、『あなたの家族を呼びなさい。わたしがあなたを導きます。ついてきなさい』。彼はわたしたちを暗い道に導き下り、森や山々の裂け目を通して言った『ここなら安全です』。そこにはこの隠れ場に導かれてきたほかの人々もいた。天の使命者たちは言った、『悩みの時は、かつて主があなたがたに警告されたように、夜、盗人のように来たのである』。

キリストの来臨直前の悩みの時に、義人は天使たちの奉仕によって守られる。しかし、神の律法を犯す人々に安全はない。天使たちはそのとき、神聖な規則の一つでも無視している者を守ることはできない。」（主は来られる 270）

5. 救出!

- a. 神の怒りの時に、だれが安全ですか (イザヤ 33:13-16; 52:9, 10)。
- b. どの恐るべき出来事が世界をひっくり返しますか—おそらくすべての人の目がほぼ同時にそれを見るために (イザヤ 11:4; 24:1-6, 19-22; 黙示録 1:7)。聖徒たちは何を宣言しますか (イザヤ 25:9)。

「神がご自身の民を救おうとされた時は真夜中だった。……暗い濃い雲があらわれて互いにぶつかり合った。しかし、一ところだけ栄光の輝く晴れ渡ったところがあって、そこから神のみ声が、流れの音のように、天地をふるわせて聞こえてきた。大地震が起こった。墓が開かれた。そして、第三天使のメッセージを信じ、安息日を守って死んだ人々が、栄化された姿で土の寝床から現れた。彼らは、神がご自身の律法を守った人々と結びたもう平和の契約を聞くのであった。」(初代文集 460)

「まもなく、東のほうに、人の手の半分くらいの大きさの小さい黒雲が現われる。それは、救い主を囲んでいる雲で、遠くからは、暗黒に包まれているように見える。神の民は、これが人の子のしるしであることを知っている。彼らは、厳粛な沈黙のうちに、その雲が地上に近づくのを見つめる。それは次第に明るさと輝かしさを増し、ついには 大きな白い雲となって、下のほうには焼き尽くす火のような栄光が輝き、上のほうには契約のにじがかかっている。イエスは、偉大な勝利者としておいでになる。」(各時代の争闘下巻 419)

「キリストがこられる時、悪人は、全地の表面から一掃される。すなわち、主イエスの口の息によって殺され、来臨の輝きによって滅ぼされる。キリストはご自分の民を神の都へ連れて行かれ、地には住民がいなくなる。」〔イザヤ 24:1, 3, 5, 6 引用〕。(同上 440)

個人的な復習問題

1. なぜ今日真理の種をまく人はみな、喜びと確信をもってそうすることができるのですか。
2. ある人々が自分たちの信仰を証するために召喚される結果は何ですか。
3. 今、どのように悩みの時の実際の危機のために準備することができますか。
4. 本当の危機が襲うとき、わたしたちの財産はどうなりますか。
5. わたしたちは神が将来についてこれほど多くの詳細を明らかにしてくださっていることを、なぜ感謝することができますか。

永遠の兆候

「見よ、わたしは新しい天と、新しい地とを創造する。さきの事はおぼえられることなく、心に思い起すことはない。」(イザヤ 65:17)

「もしわたしたちが全世界をその娯楽や栄光と共に得ても、魂を失ったら、永遠の損失である。天はどんな犠牲を払っても十分安価である。」(レビュー・アソシエイト・ヘラルド 1875 年 3 月 18 日)

推奨文献： 各時代の大争闘下巻 423-434, 441-466

日曜日

12 月 25 日

1. 天へ向かって

a. 神のわずかな残りの者たちの栄光に満ちた報いは何ですか (イザヤ 26:1, 2)。

「それから、イエスが火の炎につつまれて、雲に乗っておりて来られたとき、彼の銀のラッパが鳴り渡った。彼は、眠っている聖徒たちの墓をごらんになった。そして、彼の目と両手とを天にあげて、『さめよ、さめよ、さめよ、土の中に眠っている者たちよ、起きよ』と叫ばれた。すると、大きな地震が起こった。墓は開かれて、死んでいた者たちが、不死をまとして出てきた。……それと同時にわれわれも変えられて、空中で主に会うために、彼らと共に引き上げられた。

われわれは、一緒に雲の中に入り、七日間のぼつていって、ガラスの海に着いた。そのとき、イエスは、冠を持って来られて、ご自分の右の手で、それをわれわれの頭にのせてくださった。彼は、われわれに黄金の立琴と勝利のしめろの枝をお与えになった。144,000 の人々は、このガラスの海の上に、真四角に並んだ。星が重そうについた冠もあればわずかしかついていないのもあった。すべての者は、自分たちの冠に心から満足していた。そして、彼らはみな、肩から足までとどく輝く白い衣を着ていた。ガラスの海の上を都の門に向かって進むわれわれを天使たちが、取り巻いていた。イエスは、力強い栄光のみ手をあげて、光り輝くちょうつがいをついた真珠の門を押し開き、『あなたがたは、わたしの血によって、あなたがたの衣を洗い、わたしの真理のために堅くたった。中に入りなさい』とわれわれに言われた。われわれはみな進み入り、都に入る完全な権利が自分たちにあるのだと感じた。』(教会への証 1 巻 60, 61)

2. 差し迫った将来に……

- a. 悪人の将来と義人の祝福を対比しなさい（イザヤ 33:24; 34:1, 2）。この罪の世を思い起こさせる一つのものは何ですか（ゼカリヤ 13:6）。

「あらゆる災いの跡は一掃される。……思い出させるものがただ一つある。われわれの救い主は、永遠に十字架の傷跡をとどめられるのである。主の傷ついたみ頭に、その脇腹に、その手と足に、罪の残酷なしわざの唯一の跡がある。……人類を神に和らがせる真紅の血潮がほとぼしり出た、主の突き通された脇腹—そこに救い主の栄光があり、そこに主の力が隠れている。……救い主の屈辱のしるしこそは、救い主の最高の栄誉である。カルバリーの傷跡は永遠にわたって、主への賛美を示し、主の力を宣言する。」（各時代の犬争闘下巻 460, 462）

- b. イザヤは各時代の栄光に満ちた希望を、どのような美しい記述をもって描きましたか。わたしたちはどのように今でも、それを前もって味わうことができますか（イザヤ 35:1-10）。

「何も惜しまず、奉仕のために自らをささげる者にはだれでも測り知れぬ結果を生ずる力が与えられる。こういう人のために神は大きな仕事をなさるのである。神は人の心に働き、その結果、この地上においてさえ、将来の約束の成就が生活の上にみられるに至る。〔イザヤ 35:1-10 引用〕。」（ミストリー・オブ・ヒーリング 132）

「罪のために制限されてはいるものの、この地上の人生における最大の歓喜と最高の教育は奉仕の中にある。罪のある 人間としての制限に拘束されない来世においても、奉仕の中に最大の歓喜と最高の教育が見いだされる。それはあかしをたててことであり、あかしをたてるとともに『この奥義が、いかに栄光に富んだものであるか』を新しく学ぶのである。『この奥義は、あなたがたのうちにいますキリストであり、栄光の望みである』（コロサイ 1:27）と言われている。」（教育 361）

- c. 自分の将来のために計画を立てるとき、どこにわたしたちの主な焦点が合っているべきですか（イザヤ 65:17-19; 黙示録 21:1; ヘブル 11:8, 10, 13-16）。

3. ついに平安と静けさが!

a. イザヤは新天新地をどのように描写しましたか (イザヤ 32:18; 60:18-22)。

「未来の嗣業をあまりにも物質的なものに思わせはしないかとの恐れから、それをわれわれのすまいとして見るようにと教えられている真理そのものを霊的なものにしてしまう人が多い。キリストは弟子たちに、わたしはあなたがたのために父の家に住むところを備えに行くのだとはっきり言われた。神のみ言葉の教えを受け入れる者は、天のすまいについて全く無知ではない。……〔コリント第一 2:9 引用〕。人間の言葉では、義人の受ける報いを十分に描写することはできない。それは見るものだけがわかるであろう。限りある人知では、神のパラダイスの栄光を理解することができない。」(各時代の大争闘下巻 463)

b. イザヤはそこでの平和な雰囲気をもどのように描写しましたか (イザヤ 11:6, 7, 9; 65:25)。わたしたちはいまここでさえ、なぜ自分と家族をできるだけ近い環境に置くよう努めるべきなのですか (イザヤ 32:17)。

「主は神の民に、家族を都会から自分自身の食糧をつくることのできる田舎に連れて行くようくり返し指示された。それは、将来売り買いがきわめて困難なもんだいとなるからである。いまわたしたちは与えられた指示に留意し始めるべきである。都会を離れて、家屋のたてこんでいない、敵の干渉を受けない田園地方に行きなさい。」(7ドボンスト・ホーム 147)

「あなたの家族を都会から連れ出ささいというのがわたしのメッセージである。

神が道をお開きになるままに家族の者が都会から転出すべき時がきた。子供たちを田舎に連れていったほうがよい。親は、経済的な事情の許すかぎりよい場所を手に入れなければならない。……

地上の住民に圧倒的な災いがくだらない前に、主は真のイスラエル人にその事件のために準備するよう訴えておられる。神は両親に対して次のような警告の叫びをあげておられる。あなたがたの子供たちを自分の家に集めなさい。できるだけ早く大都会から去りなさい。

両親は、耕作のための土地がついている小さな家を田舎で手に入れることができる。その土地に果樹を植えたり、それを耕して、……野菜や小さなくだものを得ることができる。……神はその民たちがそうした家を市外にみつけるのを助けてくださるであろう。」(同上 144, 145)

4. 報いのある活動を伴った実際の場所

- a. 新地において見出す様々な職業のいくつかを挙げなさい (イザヤ 65:21, 22)。
わたしたちはどのようにして今日それらを先に味わうかを説明しなさい

「心を悩ます心配事を捨てて、青年の道徳的品性を堕落させる強い影響のない田舎にのがれ場を見つけることはあなたにとってよいことである。たしかに、田舎に行っても困ることや心悩ます心配ごとが全くなくなるということはないであろうが、そこで多くの悪を避け、あなたの子供たちの心を打ち負かそうとする誘惑の洪水に対して戸を閉ざすことができる。……

田舎に住むことは彼らにとってたいへん有益なことである。活発な戸外生活は精神と身体の健康を促進する。彼らはその中から楽しみと有益な仕事の両方を見いだすことのできる耕作のできる庭園を持つべきである。植木や花の栽培は趣味を高め、判断力を向上させるのを助ける。一方神の有益な美しい創造物に関する知識は、創造主、すべてのものの主であられる神を示して心を洗練し高める感化を持っている。」(教会への4巻136)

「山や丘は変り、地は衣のように古くなるが、荒野でその民に食を与えられた神の恵みは決して絶えることがない。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 177)

「多くの人々は額に汗して食費を稼ぐことを嫌がり、土地を耕すことを拒む。しかし、地はその深いところに、その宝を集めるための勇気と意志と忍耐強さを持っている人々のために隠れた祝福を持っている。一角の土地と快適な家庭を持っている父親と母親は王であり、女王である。」(クリスチャン教育の基礎 326, 327)

- b. 新地について、他に何が言えますか (イザヤ 64:4)。

「新天新地においては、われわれの眼をくもらせていたヴェールが取り除かれる。顕微鏡でちらつとのぞいた美しい世界がまのあたりにながめられ、望遠鏡を通してはるか遠くに見た天の栄光がまのあたりに仰がれる。全地は罪の傷あとを取り除かれて主なる神エホバの美しさにつまれて現われる。そのとき、なんというすばらしい研究の分野がわれわれの眼前に開かれることであろう。」(教育 354)

「そこには音楽と歌がある。それは神の幻の中以外には人間の耳に聞いたことも心に思ったこともないような音楽である。」(同上 358)

5. 最終的な焦点

a. 神の力と愛は新地においてどのように反映しますか (エペソ 3:17, 20)。

「〔新地では〕神ご自身が魂にうえつけられた愛と同情とは、そこで最も真実な、最も美しいものとして発揮される。……

すべての才能が発達し、すべての能力が増大する。知識を獲得するのに、頭脳を疲れさせたり、精力を使いきってしまったりするようなことはない。そこではどんな大きな企画も実行され、どんな遠大な抱負も達成され、どんな大望も実現される。そしてそれでもなお、越えるべき新しい高いところ、感嘆すべき新しい驚異、理解すべき新しい真理、頭と心と体の能力を呼び起こす新たな対象が現われてくる。」(各時代の大争闘下巻 466)

b. どのような大いなる祝福を贖われた者たちは経験するようになりますか (イザヤ 66:22, 23)。そのために、わたしたちはたった今、どのように準備ができますか。

「永遠の年月が経過するにつれて、神とキリストについてますます豊かですますます輝かしい啓示がもたらされる。知識が進歩していくように、愛と尊敬と幸福も増していく。人々は神について学べば学ぶほど、ますます神のご品性に感嘆するようになる。」(同上 467)

「大いなる白い御座の周りに立つ白い衣を着た人々の群れの中にいるために、今こそ、わずかに残された貴重な時間を品性の衣を洗い、それを小羊の血で白くするために捧げるべき時である。」(彼を知るために 65)

個人的な復習問題

1. わたしたちは贖われたすべての者が自分の報いに満足していることを、どのように知ることができますか。
2. わたしたちは今日天の喜びをどのように経験することができますか。
3. もしわたしたちは大危機の時に神にのみより頼むことができるとすれば、なぜ田舎に移るのですか。
4. どのように、そしてなぜ新地は、古い地よりも良いのですか。
5. わたしたちの神についての知識が増すとき、その結果は何ですか。

霊的なイスラエル—輝くように召されている

約束のメシヤが現れようとしていた時に、キリストの先駆者ヨハネは、取税人と罪人よ悔い改めよ。パリサイ人とサドカイ人よ悔い改めよ、「天国は近づいた」と叫んだのである(マタイ 3:2)。

今日、神の任命を受けた使者たちは、エリヤとバプテスマのヨハネの精神と力とを持って、審判に当面した世界の注目を、恩恵期間の終了と王の王、主の主としてのキリストの出現とに関して、やがて起ころうとしている厳粛な諸事件に向けている。間もなくすべての人は、その行為によってさばかれる。神のさばきの時がきた。そして、地上の神の教会の会員には、今にも永遠に滅びうせようとしている人々に、警告の言葉を発する厳粛な責任が負わせられている。われわれは広い世界で耳を傾けるすべての人に、今、行われている大争闘の問題点である原則と、全人類の運命にかかわる原則とを明らかにすべきである。

間もなくすべての人の運命が永遠に決定される人類最後の恩恵期間において、天地の主なる神は、神の教会がこれまでになかったような行動を起こすことを期待しておられる。主イエスは、現代の真理を知ってキリストにある自由を得た人々を、この地上の他のどんな民よりも恵まれた神の選民としてみなされるのである。そして彼は、彼らが暗やみから驚くべきみ光に招き入れてくださったかたのみわざを語り伝えることを期待しておられる。豊かに与えられた祝福は、他の人々に伝えなければならないのである。救いの福音は、あらゆる国民、部族、国語、民族に及ばなければならない。

キリストの再臨に先だつ暗黒と不信の時代において、栄光の主は、神の教会に特別の光をお与えになることがいにしえの預言者たちの幻の中で示されていた。彼は、「その翼には、いやす力を備えている」義の太陽として、神の教会の上ののぼられる(マラキ書 4:2)。そしてすべての真の弟子からは、生命、勇気、援助、真のいやしのための力が発散するのであった。

キリストの来臨は、この地上歴史の最も暗黒な時代に起こるのである。人の子が来られる寸前の世界の状態は、ノアやロトの時代と同じである。聖書はその時を予見して、サタンはあらゆる偽りの力とあらゆる不義の惑わしをもって活動すると言っている(テサロニケ第二 2:10)。暗黒、数々の誤った教え、異端、終末時代の惑わしなどの急速な増加によって、サタンの活動を知ることができる。サタンは、単に世俗を捕らえるだけでなく、彼の欺瞞はわれわれの主イエス・キリストの教会と称するところにまで及んでいる。大背教は真夜中の暗やみになるのである。神の民にとって、それは試練の夜、涙の夜、真理のための迫害の夜である。しかし、その暗い夜から神の光が輝き出るのである。

神は「やみの中から光」を照らし出される(コリント第二 4:6)。「地は形なく、むなく、やみが淵のおもてにあり、神の霊が水のおもてをおおっていた。神は『光あれ』と言われた。すると光があった」(創世記 1:2,3)。そのように霊的暗黒の夜

の中に、神の言葉が、「光あれ」と語られる。神は、神の民に、「起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上にのぼったから」と言われる（イザヤ書 60:1）。

「見よ、暗きは地をおおい、やみはもろもろの民をおおう。しかし、あなたの上には主が朝日のごとくにのぼられ、主の栄光があなたの上にあらわれる」（同 60:2）。神の栄光の輝きであられるキリストが、この世界に世の光として来られた。彼は人々に神を代表するために来られた。そして、彼は「聖霊と力とを注がれ……よい働きをしながら……巡回され」たと記されている（使徒行伝 10:38）。彼は、ナザレの会堂で次のように言われた。「主の御霊がわたしに宿っている。貧しい人々に福音を宣べ伝えさせるために、わたしを聖別してくださったからである。主はわたしをつかわして、囚人が解放され、盲人の目が開かれることを告げ知らせ、打ちひしがれている者に自由を得させ、主のめぐみの年を告げ知らせるのである」（ルカ 4:18,19）。彼が弟子たちにせよとお命しになったのは、これであつた。「あなたがたは、世の光である。『そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい』（マタイ 5:14,16）。

預言者イザヤも、この働きを描写して次のように言っている。「また飢えた者に、あなたのパンを分け与え、さすらえる貧しい者を、あなたの家に入れ、裸の者を見て、これに着せ、自分の骨肉に身を隠さないなどの事ではないか。そうすれば、あなたの光が暁のようにあらわれ出て、あなたは、すみやかにいやされ、あなたの義はあなたの前に行き、主の栄光はあなたのしんがりとなる」（イザヤ書 58:7,8）。

こうして、霊的暗黒の夜に、神の教会によって神の栄光が輝き出て、うずくまっている者をかえ起こし、嘆き悲しむ者を慰めるのである。

われわれの周囲の至る所に、世界の嘆き悲しむ叫び声が聞こえる。どちらを向いても、貧しい者や困っている者がいる人生の苦労や悲慘に救いの手を伸べて和らげるのが、われわれの務めである。人の心の欠乏は、ただキリストの愛だけが満たすことができるのである。もしキリストがわれわれのうちに住んでおられるならば、われわれの心は、神からの同情心で満ちあふれる。閉じた泉が開かれて、キリストのような熱烈な愛の泉となる。

希望を失った者が多くいる。彼らに太陽の光を取りもどそう。勇気を失った者も多い。彼らに励ましの言葉を語ろう。彼らのために祈ろう。生命のパンが必要な人々もある。彼らに神の言葉を読んで聞かせよう。多くの者は、地上のどんな薬も医者もいやすことのできない心の病にかかっている。こうした人々のために祈ろう。彼らをイエスのところに連れていこう。ギレアドに乳香あり、医者であられる主がおられることを彼らに告げよう。

光は、祝福、すなわち普遍的祝福で、感謝を知らず、汚れ、墮落した世界にその宝を注ぎかけている。義の太陽の光もそれと同じである。罪と悲しみと痛みの暗黒に包まれた全地は、神の愛を知る知識で照らされなければならない。どのような宗派、また地位、階級の人々も、天の御座から出る光から除外されてはならない。

希望とあわれみの使命は、地の果てまで伝えなければならない。だれでも望む者は、手を伸ばして神の力に頼り神と和らぐことができる。異邦人たちは、もはや真夜中の暗黒に包まれていてはならない。暗黒は、義の太陽の輝かしい光の前から消え去らなければならない。

キリストは彼の教会が世の光に照らされ、インマヌエルの栄光に輝く改変された一団の人々となるために、あらゆる備えをなされた。すべてのキリスト者が、光と平和の霊的ふんい気に包まれることをキリストは望まれる。彼は、われわれが彼自身の喜びをわれわれの生活にあらわすことを望んでおられる。

「起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上にのぼったから」（イザヤ書 60:1）。キリストは力と大いなる栄光をもって来られる。キリストは、彼ご自身の栄光と父なる神の栄光とをもって来られる。そして聖天使たちが、彼につき従って来る。全世界が暗黒に閉ざされているときに、聖徒たちのすべての住居には光がある。彼らは、キリストの再臨の最初の光を認める。彼の華々しいお姿からは、汚れのない光が輝き出る。そして、贖い主キリストは、彼に仕えたすべての人々からあがめられる。悪人たちは逃げるのであるが、キリストに従った人々は、彼の目前で喜びに満ちるのである。

人々の中から贖われた者たちが約束の嗣業を受けるのは、この時である。こうして、彼のイスラエルに対するみこころは、文字通りに成就するのである。神がご計画になることを人間は取り消す力がない。悪の活動のさなかにあっても、神のみこころは着実にその完成に向かって進んでいった。これは分裂した王国の歴史全体を通じて、イスラエルの家について言えることであつた。それは今日の霊的イスラエルについても同じである。

パトモスの預言者は、地が新たにされてイスラエルが回復されるこの時を、はるか幾世紀のかなたに眺めて次のようにあかしした。

「その後、わたしが見ていると、見よ、あらゆる国民、部族、国語のうちから、数えきれないほどの大ぜいの群衆が、白い衣を身にまとい、しゅろの枝を手に持って、御座と小羊との前に立ち、大声で叫んで言った、『救は、御座にいますわれらの神と小羊からきたる』。

御使たちはみな、御座と長老たちと四つの生き物とのまわりに立っていたが、御座の前にひれ伏し、神を拝して言った、『アメン、さんび、栄光、知恵、感謝、ほまれ、力、勢いが、世々限りなく、われらの神にあるように、アメン』（黙示録 7:9-12）。

「わたしはまた、大群衆の声、多くの水の音、また激しい雷鳴のようなものを聞いた。それはこう言った、『パレルヤ、全能者にして主なるわれらの神は、王なる支配者であられる。わたしたちは喜び楽しみ、神をあがめまつろう』（同 19:6,7）。「小羊は、主の主、王の王であるから、彼らにうち勝つ。また、小羊と共にいる召された、選ばれた、忠実な者たちも、勝利を得る」（同 17:14）。 国と指導者下巻 316-321

第一安息日献金



10月1日

カナダ・バンクーバーの
ために (4 ページ参照)

11月5日

ミッションフィールドのた
めの文書 (30 ページ参照)



12月3日

中央アメリカユニオン
教育支部のために
(51 ページ参照)